

厚生労働科学研究費補助金 (難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業))
アミロイドーシスに関する調査研究班 総括研究報告書

アミロイドーシスに関する調査研究

研究代表者 内木 宏延 福井大学学術研究院医学系部門 分子病理学分野 教授

研究要旨 われわれは平成 29～31 年度に及ぶ本研究計画で、(1) 病理コンサルテーション体制を始めとするアミロイドーシスの総合的診断体制構築、(2) 同診断体制による診断件数、診断確定率、各病型症例数の集計・公表、(3) 診療ガイドライン、診断基準、重症度分類の妥当性・実用性検証と改定、(4) 難病患者データベース構築に向け、臨個票で収集すべき項目の検討とデータを用いた疫学研究等の実施、(5) 各病型患者のケアマニュアル作成、(6) 専門医対象の臓器別アミロイドーシス診療の手引作成、(7) 患者向け公開講座等アミロイドーシスの啓発活動実施、の 7 項目を目指す。

今年度の成果を上記目的の番号と対応させて記す。(1) 抗 ALκ, 抗 ALλ, 抗 ATTR ウサギポリクローナル抗体を作成し、性能を確認後、病理ワーキンググループ各施設へ送付した。また、福井大学での倫理審査受審・承認後、これを基に病理ワーキンググループ各施設で順次倫理審査を受審し承認を得た。さらに、病理コンサルテーション体制の詳細を決定し、病理学会員への周知等に関し病理学会へ協力を要請した。(2) 集計項目、集計方法等を検討した。(3) 安東班で実施した全身性 AL アミロイドーシス、老人性全身性アミロイドーシス、および透析アミロイドーシスに関する全国疫学調査を論文発表した。同データ等を利用した診断基準、重症度分類の検証法に関し議論した。(4) 難病患者データベース構築に向け、臨個票で収集すべき項目を検討した。(5) 内容等の検討を開始した。(6) 内容等の検討を開始した。(7) 熊本にて「道しるべの会」(FAP 家族性アミロイドポリニューロパチー患者・家族会) 講演会・総会(7月8日) 交流会(11月4日、5日)を開催した。第 16 回国際アミロイドーシス学会サテライト企画として、国内外の ATTR-FAP 患者・家族交流会(3月25日)を実施した。

研究分担者	西 慎一	神戸大学大学院医学研究科内科学講座腎臓・免疫内科学分野腎臓内科学部門 教授
安東由喜雄	熊本大学大学院生命科学研究部神経内科学分野 教授	
山田正仁	金沢大学医薬保健研究域医学系脳老化・神経病態学(神経内科学) 教授	畑 裕之
玉岡 晃	筑波大学大学院人間総合科学研究科疾患制御医学専攻神経内科学分野 教授	熊本大学大学院生命科学研究部先端生命医療科学部門医療技術科学講座生体情報解析学 教授
東海林幹夫	弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座 教授	小池春樹
高市憲明	虎の門病院腎センター 副院長	島崎千尋
山田俊幸	自治医科大学医学部臨床検査医学講座 教授	名古屋大学大学院医学系研究科総合医学専攻脳神経病態制御学講座神経内科学 准教授
重松 隆	和歌山県立医科大学医学部腎臓内科学講座 教授	飯田真介
奥田恭章	道後温泉病院リウマチセンター・内科 院長	植田光晴
		独立行政法人地域医療機能推進機構京都鞍馬口医療センター血液内科 院長
		名古屋市立大学大学院医学研究科生体総合医療学講座血液・腫瘍内科分野 教授
		熊本大学医学部附属病院神経内科 講師

- 大橋健一 横浜市立大学大学院医学研究科医学部病態病理学講座/附属病院病理診断科病理部 教授
- 小野賢二郎 昭和大学医学部内科学講座神経内科学部門 教授
- 関島良樹 信州大学医学部内科学第三(脳神経内科、リウマチ・膠原病内科) 准教授
- 佐野元昭 慶應義塾大学医学部循環器内科学教室 准教授
- 田原宣広 久留米大学医学部内科学講座心臓・血管内科/循環器病センター 准教授

る。(c) アミロイドーシス診断基準・重症度分類・診療ガイドラインの改訂作業により、アミロイドーシス医療の水準向上(均てん化)に資すると共に、新規に発症するアミロイドーシス患者の実態を把握できる。(d) 関連学会との連携体制を構築し、アミロイドーシスの疾患概念、早期診断、および最新の治療に関し、関連学会や非専門医、患者、一般国民への普及・啓発を推進できる。(e) アミロイドーシス患者ケアマニュアルの作成等により、患者の療養生活環境整備や QOL 向上に資する事ができる。(f) 指定難病データベース(平成 29 年度中に稼働開始予定)の構築に向けたデータを提供できる。

A. 研究目的

われわれは平成 29～31 年度に及ぶ本研究計画で、(1) 病理コンサルテーション体制を始めとするアミロイドーシスの総合的診断体制構築(平成 31 年 3 月までに)、(2) 同診断体制による診断件数、診断確定率、各病型症例数の集計・公表(平成 32 年 3 月までに)、(3) 診療ガイドライン、診断基準、重症度分類の妥当性・実用性検証と改定(平成 32 年 3 月までに)、(4) 難病患者データベース構築に向け、臨個票で収集すべき項目の検討とデータを用いた疫学研究等の実施(平成 32 年 3 月までに)、(5) 各病型患者のケアマニュアル作成(平成 32 年 3 月までに)、(6) 専門医対象の臓器別アミロイドーシス診療の手引作成(平成 32 年 3 月までに)、(7) 患者向け公開講座等アミロイドーシスの啓発活動実施(平成 32 年 3 月までに)の 7 項目を目指す。

本研究計画は、「難病の患者に対する医療等に関する法律」(難病法)の求める以下の課題を直接解決するものであり、厚生労働行政の施策に直接活用できる成果を期待できると考える。(a) 病理コンサルテーション体制を始めとするアミロイドーシスの総合的診断体制の構築により、正確な早期診断や、適切な施設での各病型に応じた最新の診療が可能になる。(b) 信頼性の高いオールジャパンの診断体制を基盤としたレジストリ構築により、全国的にバランスの取れた、特定の地域に偏らないコホート研究が可能となり、レジストリ研究の優れたモデルとなることが期待され

B. 研究方法

【項目番号は研究の目的に対応】(1)に関し、ウサギポリクローナル抗体の作成は、抗原ペプチドの合成を含め専門業者に委託した。抗体の特異性・力価は、過去の剖検症例を用いて評価した。病理学会への協力要請は研究代表者が行った。(1)の残りの項目及び(2)～(6)の各項目は、第 1 回研究班会議(平成 29 年 8 月 19 日、京都)、第 2 回研究班会議(平成 30 年 1 月 19 日、東京)および各 WG で随時開催するメール会議で議論・決定した。(7)は研究分担者の安東、植田(いずれも熊本大学)を中心に実施した。

(倫理面への配慮)

(1)に関し、個人情報保護には細心の注意を払う。また、オプトアウトにより対象患者に研究不参加の機会を与える。福井大学医学系研究倫理審査委員会で「病理検体のアミロイドーシス病型診断コンサルテーション体制の構築」の受審・承認を得た(平成 29 年 12 月 15 日)。これを基に病理 WG 各施設で順次倫理審査を受審し承認を得た。本コンサルテーション体制の精度管理を行うため、われわれは診断総数及び各病型症例数(免疫染色で確定できずプロテオーム解析を実施した症例を含む)のみ集計する。このためコンサルテーション依頼施設での倫理審査は要求しない。

C. 研究結果

【項目番号は研究の目的に対応】(1) 抗ALκ, 抗

AL λ , 抗ATTRウサギポリクローナル抗体を作成し、性能を確認後、病理WG各施設へ送付した。また、福井大学医学系研究倫理審査委員会より「病理検体のアミロイドーシス病型診断コンサルテーション体制の構築」の承認を得た。これを基に病理WG各施設で順次倫理審査を受審し承認を得た。さらに、病理コンサルテーション体制の詳細を決定し、病理学会員への周知等に関し病理学会へ協力を要請した。平成30年4月、病理診断にプロテオーム解析を加えたアミロイドーシスの総合的診断体制を開始した。(2) 集計項目、集計方法等を検討した。(3) 安東班で実施した全身性ALアミロイドーシス、老人性全身性アミロイドーシス、および透析アミロイドーシスに関する全国疫学調査を論文発表した。同データ等を利用した診断基準、重症度分類の検証法に関し議論した。(4) 難病患者データベース構築に向け、臨個票で収集すべき項目を検討した。(5) 内容等の検討を開始した。(6) 内容等の検討を開始した。(7) 熊本にて「道しるべの会」(FAP家族性アミロイドポリニューロパチー患者・家族会)講演会・総会(7月8日)、交流会(11月4日、5日)を開催した。第16回国際アミロイドーシス学会サテライト企画として、国内外のATTR-FAP患者・家族交流会(3月25日)を実施した。

D. 考察

【項目番号は研究の目的に対応】(1) 今年度確立した体制により、平成30年4月、病理コンサルテーション体制を始めとするアミロイドーシスの総合的診断体制を開始し、維持・発展させる。(2) 次年度以降、同診断体制による診断件数、診断確定率、各病型症例数を集計・公表する。(3) 今年度研究班会議や各WGで行った議論を基に、次年度以降、診療ガイドライン、診断基準、重症度分類の妥当性・実用性を検証し、必要に応じて改定する。(4) 今年度研究班会議や各WGで行った議論を基に、臨個票で収集すべき項目をさらに検討し、次年度以降、難病患者データベースを用いた疫学研究等を実施する。(5) 今年度研究班会議や各WGで行った議論を基に、内容等の検討をさらに進め、次年度以降、各病型アミロイドーシス患者のケアマニュアルを公表する。(6) 今年度研

究班会議や各WGで行った議論を基に、内容等の検討をさらに進め、次年度以降、心、腎アミロイドーシス診療の手引を公表する。(7) 熊本にて「道しるべの会」講演会・総会、交流会を引き続き開催すると共に、他地域の家族会も引き続き活動を続け、全国的な交流を促進する。

E. 結論

抗AL κ , 抗AL λ , 抗ATTRウサギポリクローナル抗体を作成し、性能を確認後、病理ワーキンググループ各施設へ送付した。また、病理コンサルテーション体制の詳細を決定し、病理学会員への周知等に関し病理学会へ協力を要請した。安東班で実施した全国疫学調査を論文発表し、同データ等を利用した診断基準、重症度分類の検証法に関し議論した。難病患者データベース構築に向け、臨個票で収集すべき項目を検討した。各病型患者のケアマニュアル、専門医対象の臓器別アミロイドーシス診療の手引に関し、内容等の検討を開始した。熊本にて「道しるべの会」講演会・総会、交流会を開催した。第16回国際アミロイドーシス学会サテライト企画として、国内外のATTR-FAP患者・家族交流会を実施した。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

内木宏延

1) So M, Hata Y, Naiki H, Goto Y: Heparin-induced amyloid fibrillation of β 2-microglobulin explained by solubility and a supersaturation-dependent conformational phase diagram. *Protein Sci* 26(5): 1024-1036, 2017.

2) Lin CM, Arishima H, Kikuta KI, Naiki H, Kitai R, Kodera T, Matsuda K, Hashimoto N, Isozaki M, Tsunetoshi K, Neishi H, Higashino Y, Akazawa A, Arai H, Yamada S: Pathological examination of cerebral amyloid angiopathy in patients who underwent removal of lobar hemorrhages. *J Neurol* 265(3): 567-577, 2018.

3) 内木 宏延, 長谷川 一浩, 山口 格, 大越 忠和,

遠藤 芳徳: 老化とアミロイドーシス. *病理と臨床* 36(2): 110-115, 2018.

安東由喜雄

1) Kasagi T, Nobata H, Suzuki K, Miura N, Banno S, Takami A, Yamashita T, Ando Y, Imai H: Light chain deposition disease diagnosed with laser micro-dissection, liquid chromatography, and tandem mass spectrometry of nodular glomerular lesions. *Intern Med* 56: 61-66, 2017.

2) Huang G, Ueda M, Tasaki M, Yamashita T, Misumi Y, Masuda T, Suenaga G, Inoue Y, Kinoshita Y, Matsumoto S, Mizukami M, Tsuda Y, Nomura T, Obayashi K, Ando Y: Clinicopathological and biochemical findings of thyroid amyloid in hereditary transthyretin amyloidosis with and without liver transplantation. *Amyloid* 24: 24-29, 2017.

3) Oda S, Utsunomiya D, Nakaura T, Yuki H, Kidoh M, Morita K, Takashio S, Yamamuro M, Izumiya Y, Hirakawa K, Ishida T, Tsujita K, Ueda M, Yamashita T, Ando Y, Hata H, Yamashita Y: Identification and assessment of cardiac amyloidosis by myocardial strain analysis of cardiac magnetic resonance imaging. *Circ J* 81: 1014-1021, 2017.

4) Misumi Y, Ueda M, Yamashita T, Masuda T, Kinoshita Y, Tasaki M, Nagase T, Ando Y: Novel screening for transthyretin amyloidosis by using fat ultrasonography. *Ann Neurol* 81: 604-608, 2017.

5) Hayashi Y, Higashi T, Motoyama K, Jono H, Ando Y, Arima H: In vitro and in vivo siRNA delivery to hepatocyte utilizing ternary complexation of lactosylated dendrimer/cyclodextrin conjugates, siRNA and low-molecular-weight sacran. *Int J Biol Macromol* 107: 1113-1121, 2018.

6) Fukasawa K, Higashimoto Y, Ando Y, Motomiya Y: Selection of DNA aptamer that blocks the fibrillogenesis of a proteolytic amyloidogenic fragment of β 2 m. *Ther Apher Dial* 22: 61-66, 2018.

7) Okada M, Misumi Y, Ueda M, Yamashita T, Masuda T, Tasaki M, Ando Y: A novel transthyretin variant V28S (p.V48S) with a double-nucleotide substitution in the same codon. *Amyloid* 24: 231-232, 2018.

8) Takashio S, Yamamuro M, Izumiya Y, Hirakawa K,

Marume K, Yamamoto M, Ueda M, Yamashita T, Ishibashi-Ueda H, Yasuda S, Ogawa H, Ando Y, Anzai T, Tsujita K: Diagnostic utility of cardiac troponin T level in patients with cardiac amyloidosis. *ESC Heart Fail* 5: 27-35, 2018.

9) Nishi S, Hoshino J, Yamamoto S, Goto S, Fuji H, Ubara Y, Motomiya Y, Morita H, Takaichi K, Yamagata K, Shigematsu T, Ueda M, Ando Y: A multicenter cross sectional study for bone-articular lesions associated with dialysis related amyloidosis in Japan. *Nephrology* 2017 in press.

10) Masuda T, Ueda M, Suenaga G, Misumi Y, Tasaki M, Izaki A, Yanagisawa Y, Inoue Y, Motokawa H, Matsumoto S, Mizukami M, Arimura A, Deguchi T, Nishio Y, Yamashita T, Inomata Y, Obayashi K, Ando Y: Early skin denervation in hereditary and iatrogenic transthyretin amyloid neuropathy. *Neurology* 88: 2192-2197, 2017.

11) Suenaga G, Ikeda T, Masuda T, Motokawa H, Yamashita T, Takamatsu K, Misumi Y, Ueda M, Matsui H, Senju S, Ando Y: Inflammatory state exists in familial amyloid polyneuropathy that may be triggered by mutated transthyretin. *Sci Rep* 7: 1579, 2017.

12) Inoue Y, Ueda M, Tasaki M, Takeshima A, Nagatoshi A, Masuda T, Misumi Y, Kosaka T, Nomura T, Mizukami M, Matsumoto S, Yamashita T, Takahashi H, Kakita A, Ando Y: Sushi repeat-containing protein 1: a novel disease-associated molecule in cerebral amyloid angiopathy. *Acta Neuropathol* 134: 605-617, 2017.

13) Oda S, Utsunomiya D, Morita K, Nakaura T, Yuki H, Kidoh M, Hirata K, Taguchi N, Tsuda N, Shiraiishi S, Namimoto T, Hirakawa K, Takashio S, Izumiya Y, Yamamuro M, Hokimoto S, Tsujita K, Ueda M, Yamashita T, Ando Y, Yamashita Y: Cardiovascular magnetic resonance myocardial T1 mapping to detect and quantify cardiac involvement in familial amyloid polyneuropathy. *Eur Radiol* 27(11): 4631-4638, 2017.

14) Matsumoto S, Ueda M, Yamashita T, Amano T, Misumi Y, Tasaki M, Masuda T, Mizukami M, Furuya H, Ando Y: A late-onset case of hereditary transthyretin amyloidosis with a novel compound

- heterozygous mutation. *Amyloid* 24: 97-98, 2017.
- 15) Tasaki M, Ueda M, Obayashi K, Kinoshita Y, Matsumoto S, Mizukami M, Masuda T, Misumi Y, Yamashita T, Ando Y: Identification of amyloid precursor protein from autopsy and biopsy specimens using LMD-LC-MS/MS: the experience at Kumamoto University. *Amyloid* 24: 167-168, 2017.
- 16) Izaki A, Obayashi K, Suenaga G, Ueda M, Yamashita T, Tasaki M, Yanagisawa Y, Masuda T, Misumi Y, Ando Y: In vitro and in vivo assessment of novel derivatives for detecting various amyloid deposits. *Amyloid* 24: 17, 2017.
- 17) Nomura T, Yamashita T, Misumi Y, Ueda M, Masuda T, Tasaki M, Ando Y: A case with a novel variant transthyretin A36D presenting cardiac phenotype. *Amyloid* 24: 100, 2017.
- 18) Tsuda Y, Misumi Y, Ueda M, Tasaki M, Huang G, Masuda T, Suenaga G, Kinoshita Y, Obayashi K, Yamashita T, Ando Y: Iatrogenic systemic transthyretin amyloid deposits in a case with domino liver transplantation: an autopsy case study. *Amyloid* 24: 125, 2017.
- 19) Ando Y, Ueda M: Antibody therapy for transthyretin-related hereditary amyloid polyneuropathy: another therapeutic option. *Amyloid* 24: 113-114, 2017.
- 20) Obayashi K, Ueda M, Yamashita T, Tasaki M, Izaki A, Yanagisawa Y, Masuda T, Misumi Y, Ando Y: Long-term effects of liver transplantation on small-fiber dysfunction in Japanese transthyretin (ATTR) V30M hereditary amyloidosis with polyneuropathy (FAP). *Amyloid* 24: 99, 2017.
- 21) Watanabe T, Obayashi K, Misumi Y, Tasaki M, Shinriki S, Ando T, Akagami T, Ueda M, Yamashita T, Hirotani S, Ando Y: Hereditary transthyretin amyloidosis associated with a transthyretin variant Thr59Arg. *Amyloid* 24: 119, 2017.
- 22) Koike H, Ikeda S, Takahashi M, Kawagashira Y, Iijima M, Misumi Y, Ando Y, Ikeda SI, Katsuno M, Sobue G: Disruption of blood-nerve barriers in hereditary transthyretin (ATTR) amyloidosis. *Amyloid* 24: 89-90, 2017.
- 23) Mizukami M, Ueda M, Tasaki M, Misumi Y, Masuda T, Matsumoto S, Yamashita T, Ando Y: Clinicopathological and biochemical findings of late-onset hereditary transthyretin amyloidosis 16 years after liver transplantation: an autopsy case study. *Amyloid* 24: 122, 2017.
- 24) Misumi Y, Oshima T, Ueda M, Yamashita T, Tasaki M, Masuda T, Obayashi K, Ando Y: Occurrence factors and clinical picture of iatrogenic transthyretin amyloidosis after domino liver transplantation. *Amyloid* 24: 123-124, 2017.
- 25) Yanagisawa Y, Obayashi K, Tasaki M, Izaki A, Masuda T, Misumi Y, Ueda M, Yamashita T, Ando Y: Clinicopathological characteristics of a patient with ureteral amyloidosis. *Amyloid* 24: 101, 2017.
- 26) Yamashita T, Ueda M, Tasaki M, Masuda T, Misumi Y, Takamatsu K, Obayashi K, Ando Y: Establishment of a diagnostic center for amyloidosis in Japan by Kumamoto University. *Amyloid* 24: 169-170, 2017.
- 27) Tsuda N, Shiraishi S, Oda S, Ogasawara K, Sakamoto F, Tomiguchi S, Fujisue K, Takashio S, Izumiya Y, Tsujita K, Ando Y, Yamashita Y: Utility of single-photon emission computed tomography/computed tomography fusion imaging with 99 mTc-Pyrophosphate scintigraphy in the assessment of cardiac transthyretin amyloidosis. *Circ J* 2017 in press.
- 28) Shimazaki C, Hata H, Iida S, Ueda M, KatohN, Sekishima Y, Ikeda S, Yazaki M, Fukushima W, Ando Y: Nationwide survey of 741 patients with systemic amyloid light-chain amyloidosis in Japan. *Intern Med* 57: 181-187, 2018.
- 29) Yamashita T, Ueda M, Misumi Y, Masuda T, Nomura T, Tasaki M, Takamatsu K, Sasada K, Obayashi K, Matsui H, Ando Y: Genetic and clinical characteristics of hereditary transthyretin amyloidosis in endemic and non-endemic areas: experience from a single-referral center in Japan. *J Neurol*, 265: 134-140, 2018.
- 30) Sekijima Y, Yazaki M, Ueda M, Koike H, Yamada M, Ando Y: First nationwide survey on systemic wild-type ATTR amyloidosis in Japan. *Amyloid* 2018 in press.

- 31) Oda S, Nakaura T, Utsunomiya D, Hirakawa K, Takashio S, Izumiya Y, Tsujita K, Hata H, Ando Y, Yamashita Y: Late iodine enhancement and myocardial extracellular volume quantification in cardiac amyloidosis by using dual-energy cardiac computed tomography performed on a dual-layer spectral detector scanner. *Amyloid*: 2018 in press.
- 32) Ikeda T, Masuda T, Ueda M, Yamashita T, Misumi Y, Shinriki S, Ando Y: Unwanted road to anaemia in transthyretin familial amyloid polyneuropathy may continue irrespective of tafamidis treatment. *Ann Clin Biochem* 2018 in press.
- 33) Sekijima Y, Ueda M, Koike H, Misawa S, Ishii T, Ando Y: Diagnosis and management of transthyretin familial amyloid polyneuropathy in Japan: red-flag symptom clusters and treatment algorithm. *Orphanet J Rare Dis* 13: 6, 2018.
- 34) 杉本 俊哉, 田崎 雅義, 山下 太郎, 植田 光晴, 安東 由喜雄, 大林 光念, 奥野 豊, 畑裕 之: AL アミロイドーシスにおける質量分析を用いた沈着ペプチド解析. *臨床血液* 58: 589-594, 2017.
- 35) 中根 俊成, 向野 晃弘, 安東 由喜雄: 免疫系と自律神経系のインターフェース. *日本臨床免疫学会会誌* 40: 352-360, 2017.
- 36) 安東 由喜雄: 家族性アミロイドポリニューロパチーの臨床と治療. *最新医学* 72(8): 1193-1199, 2017.
- 37) 安東 由喜雄: 家族性アミロイドポリニューロパチー. *今日の治療指針* 60: 960-961, 2018.
- 38) 山下 太郎, 安東 由喜雄: タファミジス: 遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスに対する蛋白質安定化剤. *心臓* 49(5): 438-443, 2017.
- 39) 山下 太郎, 安東 由喜雄: トランスサイレチン (ATTR) 型脳アミロイド血管症/軟膜アミロイドーシス. *日本神経治療学会 標準的神経治療 アミロイドーシス* 2017 in press.
- 40) 山下 太郎, 安東 由喜雄: アミロイドーシスを疑う臨床症状と症候. *医学の歩み* 別冊: 33-40, 2017.
- 41) 植田 光晴, 安東 由喜雄: アミロイド蛋白質の免疫組織化学的・蛋白質化学的同定法. *医学の歩み* 別冊: 41-45, 2017.
- 42) 山下太郎, 安東由喜雄. 遺伝性 ATTR 型脳アミロイド血管症 / 家族性 ATTR 型眼軟膜アミロイドーシスの臨床像. *神経内科* 88(3): 305-310, 2017.
- 山田正仁
- 1) Noguchi-Shinohara M, Komatsu J, Samuraki M, Matsunari I, Ikeda T, Sakai K, Hamaguchi T, Ono K, Nakamura H, Yamada M: Cerebral amyloid angiopathy-related microbleeds and CSF biomarkers in Alzheimer's disease. *J Alzheimers Dis* 55(3): 905-913, 2017.
- 2) Sakai K, Asakawa M, Takahashi R, Ishida C, Nakamura R, Hamaguchi T, Ono K, Iwasa K, Yamada M: Coexistence of transthyretin- and A β -type cerebral amyloid angiopathy in a patient with hereditary transthyretin V30M amyloidosis. *J Neurol Sci* 381: 144-146, 2017.
- 3) Sekijima Y, Yazaki M, Ueda M, Koike H, Yamada M, Ando Y: First nationwide survey on systemic wild-type ATTR amyloidosis in Japan. *Amyloid* 25: 8-10, 2018.
- 4) 坂井 健二, 山田 正仁: 脳アミロイドアンギオパチー. *日本医師会雑誌* 146 (特別号(1)): S216-S217, 2017.
- 玉岡 晃
- 1) Mamada N, Tanokashira D, Ishii K, Tamaoka A, Araki W: Mitochondria are devoid of amyloid β -protein (A β)-producing secretases: Evidence for unlikely occurrence within mitochondria of A β generation from amyloid precursor protein. *Biochem Biophys Res Commun* 486(2): 321-328, 2017.
- 2) Ishii K, Koide R, Mamada N, Tamaoka A: Topographical disorientation in a patient with right parahippocampal infarction. *Neurol Sci* 38(7): 1329-1332, 2017.
- 3) Nakamagoe K, Moriyama T, Maruyama H, Yokosawa M, Hara T, Tanaka S, Fujimoto M, Tamaoka A: Polymyalgia rheumatica in a melanoma patient due to nivolumab treatment. *J Cancer Res Clin Oncol* 143(7): 1357-1358, 2017.
- 4) Imamura K, Izumi Y, Watanabe A, Tsukita K, Woltjen K, Yamamoto T, Hotta A, Kondo T, Kitaoka S,

- Ohta A, Tanaka A, Watanabe D, Morita M, Takuma H, Tamaoka A, Kunath T, Wray S, Furuya H, Era T, Makioka K, Okamoto K, Fujisawa T, Nishitoh H, Homma K, Ichijo H, Julien JP, Obata N, Hosokawa M, Akiyama H, Kaneko S, Ayaki T, Ito H, Kaji R, Takahashi R, Yamanaka S, Inoue H: The Src/c-Abl pathway is a potential therapeutic target in amyotrophic lateral sclerosis. *Sci Transl Med* 9(391), 2017.
- 5) Shimada S, Arai T, Tamaoka A, Homma M: Licorice-induced hypokalaemia in patients treated with Yokukansan preparations: identification of the risk factors in a retrospective cohort study. *BMJ Open* 7(6): e014218, 2017.
- 6) Wu T, Ido K, Osada Y, Kotani S, Tamaoka A, Hanada T: The neuroprotective effect of perampanel in lithium-pilocarpine rat seizure model. *Epilepsy Res* 137: 152-158, 2017.
- 7) Boonruamkaew P, Chonpathompikunlert P, Vong LB, Sakaue S, Tomidokoro Y, Ishii K, Tamaoka A, Nagasaki Y: Chronic treatment with a smart antioxidative nanoparticle for inhibition of amyloid plaque propagation in Tg2576 mouse model of Alzheimer's disease. *Sci Rep* 7(1): 3785, 2017.
- 8) Tsunoda Y, Kiwamoto T, Homma S, Yabuuchi Y, Kitazawa H, Shiozawa T, Nakazawa K, Hosaka T, Ishii K, Ishii A, Tamaoka A, Hizawa N: Paraneoplastic limbic encephalitis with late-onset magnetic resonance imaging findings: A case report. *Mol Clin Oncol* 7(2): 259-262, 2017.
- 9) Yanagiha K, Ishii K, Ueno T, Marushima A, Tamaoka A: Medial medullary infarction caused by antineutrophil cytoplasmic antibody-related vasculitis: Case report and review of the literature. *Medicine (Baltimore)* 96(33): e7722, 2017.
- 10) Hosaka T, Ishii K, Miura T, Mezaki N, Kasuga K, Ikeuchi T, Tamaoka A: A novel frameshift GRN mutation results in frontotemporal lobar degeneration with a distinct clinical phenotype in two siblings: case report and literature review. *BMC Neurol* 17(1): 182, 2017.
- 11) Nakamagoe K, Nohara S, Takahashi Y, Takiguchi M, Kawakami R, Koganezawa T, Tamaoka A: The successful application of plasmapheresis in the treatment of a patient with opsoclonus and autoantibodies to glutamate receptor $\delta 2$. *Intern Med* 56(20): 2773-2778, 2017.
- 12) Hosaka T, Nakamagoe K, Tamaoka A: Hemolytic uremic syndrome-associated encephalopathy successfully treated with corticosteroids. *Intern Med* 56(21): 2937-2941, 2017.
- 13) Ogawa T, Ishitsuka Y, Koguchi-Yoshioka H, Tanaka R, Fujisawa Y, Ishii A, Tamaoka A, Fujimoto M: Polymyositis induced by PD-1 blockade in a patient in hepatitis B remission. *J Neurol Sci* 381: 22-24, 2017.
- 14) Naruse H, Ishiura H, Mitsui J, Date H, Takahashi Y, Matsukawa T, Tanaka M, Ishii A, Tamaoka A, Hokkoku K, Sonoo M, Segawa M, Ugawa Y, Doi K, Yoshimura J, Morishita S, Goto J, Tsuji S: Molecular epidemiological study of familial amyotrophic lateral sclerosis in Japanese population by whole-exome sequencing and identification of novel HNRNPA1 mutation. *Neurobiol Aging* 61: 255.e9-255.e16, 2018.
- 15) Mano T, Nagata K, Nonaka T, Tarutani A, Imamura T, Hashimoto T, Bannai T, Koshi-Mano K, Tsuchida T, Ohtomo R, Takahashi-Fujigasaki J, Yamashita S, Ohyagi Y, Yamasaki R, Tsuji S, Tamaoka A, Ikeuchi T, Saido TC, Iwatsubo T, Ushijima T, Murayama S, Hasegawa M, Iwata A: Neuron-specific methylome analysis reveals epigenetic regulation and tau-related dysfunction of BRCA1 in Alzheimer's disease. *Proc Natl Acad Sci U S A* 114(45): E9645-E9654, 2017.
- 16) Shiraiwa N, Umesawa M, Hoshino S, Enomoto T, Kusunoki S, Tamaoka A, Ohkoshi N: Miller Fisher syndrome with sinus arrest. *Neurol Int* 9(3): 7312, 2017.
- 17) Nakamagoe K, Tozaka N, Nohara S, Kawakami R, Yamada S, Koganezawa T, Tamaoka A: Upbeat nystagmus is a useful sign in the regional diagnosis of trigeminal nerve disorder with multiple sclerosis. *Mult Scler Relat Disord* 19: 59-61, 2017.
- 18) Masuda T, Ishii K, Nakayama T, Iwasaki N, Shibata Y, Tamaoka A: High-sensitivity quantitative analysis reveals the non-linear relationship between

the dose and deposition of diphenylarsinic acid in the rat central nervous system following its subchronic exposure. *Neurotoxicol Teratol* 65: 26-33, 2017.

19) Okune S, Ishii K, Ouchi S, Sakakura K, Matsuda M, Tamaoka A: A cerebral phenotype of chronic lymphocytic inflammation with pontine perivascular enhancement responsive to steroids: A case report and review of the literature. *Mult Scler Relat Disor* 20: 159-163, 2018.

20) Ishiura H, Doi K, Mitsui J, Yoshimura J, Matsukawa MK, Fujiyama A, Toyoshima Y, Kakita A, Takahashi H, Suzuki Y, Sugano S, Qu W, Ichikawa K, Yurino H, Higasa K, Shibata S, Mitsue A, Tanaka M, Ichikawa Y, Takahashi Y, Date H, Matsukawa T, Kanda J, Nakamoto FK, Higashihara M, Abe K, Koike R, Sasagawa M, Kuroha Y, Hasegawa N, Kanetsawa N, Kondo T, Hitomi T, Tada M, Takano H, Saito Y, Sanpei K, Onodera O, Nishizawa M, Nakamura M, Yasuda T, Sakiyama Y, Otsuka M, Ueki A, Kaida KI, Shimizu J, Hanajima R, Hayashi T, Terao Y, Inomata-Terada S, Hamada M, Shirota Y, Kubota A, Ugawa Y, Koh K, Takiyama Y, Ohsawa-Yoshida N, Ishiura S, Yamasaki R, Tamaoka A, Akiyama H, Otsuki T, Sano A, Ikeda A, Goto J, Morishita S, Tsuji S: Expansions of intronic TTTC A and TTTTA repeats in benign adult familial myoclonic epilepsy. *Nat Genet* 50(4): 581-590, 2018.

21) Yamada K, Shiraishi H, Oki E, Ishige M, Fukao T, Hamada Y, Sakai N, Ochi F, Watanabe A, Kawakami S, Kuzume K, Watanabe K, Sameshima K, Nakamagoe K, Tamaoka A, Asahina N, Yokoshiki S, Miyakoshi T, Ono K, Oba K, Isoe T, Hayashi H, Yamaguchi S, Sato N: Open-label clinical trial of bezafibrate treatment in patients with fatty acid oxidation disorders in Japan. *Mol Genet Metab Rep* 15: 55-63, 2018.

22) 野原 誠太郎, 石井 亜紀子, 上田 篤志, 関 登子, 小國 英一, 木野 弘善, 石川 栄一, 玉岡 晃: 多発性微小出血が認められ, 脳生検により脳アミロイドアンギオパチー関連炎症と診断した 1 例. *日本内科学会雑誌* 106(4): 820-825, 2017.

23) 玉岡 晃: Alzheimer 型認知症における疾患修飾薬の進歩. *Geriatr Med* 55(6): 621-626, 2017.

24) 玉岡 晃: 認知症の脳脊髄液診断. 実施診療のための最新認知症学, *日本臨床* 76 (増刊号 1): 44-49, 2018.

東海林幹夫

1) Kawarabayashi T, Nakamura T, Seino Y, Hirohata M, Mori F, Wakabayashi K, Ono S, Harigaya Y, Shoji M: Disappearance of MRI imaging signals in a patient with neuronal intranuclear inclusion disease. *J Neurol Sci* 388(1): 1-3, 2018.

2) Seino Y, Nakamura T, Kawarabayashi T, Wakasaya Y, Hayashi YK, Okubo M, Nishino I, Shoji M: Case of elderly-onset multiple acyl-CoA dehydrogenase deficiency with a novel ETFDH mutation shows progressive muscle weakness and rhabdomyolysis. *Neurology and Clinical Neuroscience* 6(2): 39-41, 2018.

3) Miki Y, Yoshizawa T, Morohashi S, Seino Y, Kijima H, Shoji M, Mori A, Yamashita C, Hatano T, Hattori N, Wakabayashi K: Neuropathology of PARK14 is identical to idiopathic Parkinson's disease. *Mov Disord* 32(5): 799-800, 2017.

4) Harigaya Y, Matsukawa T, Fujita Y, Mizushima K, Ishiura H, Mitsui J, Morishita S, Shoji M, Ikeda Y, Tsuji S: A novel GBE1 mutation in a Japanese family with adult polyglucosan body disease. *Neurol Genet* 3(2): e138, 2017.

高市憲明

1) Yabuuchi J, Hayami N, Hoshino J, Sumida K, Suwabe T, Ueno T, Sekine A, Kawada M, Yamanouchi M, Hiramatsu R, Hasegawa E, Sawa N, Takaichi K, Fujii T, Ohashi K, Migita K, Masaki T, Ubara Y: AA Amyloidosis and Atypical Familial Mediterranean Fever with Exon 2 and 3 Mutations. *Case Rep Nephrol Dial* 7(2): 102-107, 2017.

2) Iwadate D, Hasegawa E, Hoshino J, Hayami N, Sumida K, Yamanouchi M, Sekine A, Kawada M, Hiramatsu R, Suwabe T, Sawa N, Yuasa M, Waki A, Fujii T, Ohashi K, Takaichi K, Ubara Y: The long-term outcomes after VAD plus SCT therapy in a patient with AL amyloidosis and severe factor X deficiency.

Intern Med 57(5): 701-706, 2018.

山田俊幸

1) Tanaka M, Nishimura A, Takeshita H, Takase H, Yamada T, Mukai T: Effect of lipid environment on amyloid fibril formation of human serum amyloid A. *J Chem Phys Lipids* 202: 6-16, 2017.

2) Imoto M, Yoshida K, Maeda Y, Nakae K, Kudo M, Sakurabayashi I, Yamada T, Kamisako T: A case of waldenstrom macroglobulinemia with temporary appearance of 7S IgM half molecule. *Clin Lab* 63(5): 983-989, 2017.

重松 隆

1) Nishi S, Hoshino J, Yamamoto S, Goto S, Fuji H, Ubara Y, Motomiya Y, Morita H, Takaichi K, Yamagata K, Shigematsu T, Ueda M, Ando Y: A multicenter cross sectional study for bone-articular lesions associated with dialysis related amyloidosis in Japan. *Nephrology (Carlton)* 2017.

2) Shigematsu T, Muraoka R, Sugimoto T, Nishizawa Y: Risedronate therapy in patients with mild-to-moderate chronic kidney disease with osteoporosis: Post-hoc analysis of data from the risedronate phase III clinical trials. *BMC Nephrol* 18(1): 66, 2017.

奥田恭章

1) Hirano F, Yokoyama W, Yamazaki H, Amano K, Kawakami A, Hayashi T, Tamura N, Yasuda S, Dobashi H, Fujii T, Ito S, Kaneko Y, Matsui T, Okuda Y, Saito K, Suzuki F, Yoshimi R, Sakai R, Koike R, Kohsaka H, Miyasaka N, Harigai M; T2T Epidemiological Study Group: Achieving simplified disease activity index remission in patients with active rheumatoid arthritis is associated with subsequent good functional and structural outcomes in a real-world clinical setting under a treat-to-target strategy. *Mod Rheumatol* 27(5): 811-819, 2017.

西 慎一

1) Nishi S, Hoshino J, Yamamoto S, Goto S, Fuji H, Ubara Y, Motomiya Y, Morita H, Takaichi K,

Yamagata K, Shigematsu T, Ueda M, Ando Y: A multicenter cross sectional study for bone-articular lesions associated with dialysis related amyloidosis in Japan. *Nephrology (Carlton)* 2017.

2) Nishi S, Muso E, Shimizu A, Sugiyama H, Yokoyama H, Ando Y, Goto S, Fujii H: A clinical evaluation of renal amyloidosis in the Japan renal biopsy registry: a cross-sectional study. *Clin Exp Nephrol* 21(4): 624-632, 2017.

3) 西 慎一: 透析アミロイドーシス. 植田 光晴編, 最新アミロイドーシスのすべて. 医歯薬出版, 185-195, 2017.

畑 裕之

1) Nishimura N, Endo S, Ueno S, Ueno N, Tatetsu H, Hirata S, Hata H, Komohara Y, Takeya M, Mitsuya H, Okuno Y. A xenograft model reveals that PU.1 functions as a tumor suppressor for multiple myeloma in vivo. *Biochem Biophys Res Commun* 486 (4): 916-922, 2017.

2) Oda S, Utsunomiya D, Nakaura T, Yuki H, Kidoh M, Morita K, Takashio S, Yamamuro M, Izumiya Y, Hirakawa K, Ishida T, Tsujita K, Ueda M, Yamashita T, Ando Y, Hata H, Yamashita Y: Identification and assessment of cardiac amyloidosis by myocardial strain analysis of cardiac magnetic resonance imaging. *Circ J* 81(7): 1014-1021, 2017.

3) Ueno N, Nishimura N, Ueno S, Endo S, Tatetsu H, Hirata S, Hata H, Matsuoka M, Mitsuya H, Okuno Y: PU.1 acts as tumor suppressor for myeloma cells through direct transcriptional repression of IRF4. *Oncogene* 36(31): 4481-4497, 2017.

4) Shimazaki C, Hata H, Iida S, Ueda M, Katoh N, Sekishima Y, Ikeda S, Yazaki M, Fukushima W, Ando Y: Nationwide survey of 741 patients with systemic amyloid light-chain amyloidosis in Japan. *Intern Med* 57(2): 181-187, 2018.

5) Fujii E, Inada Y, Kakoki M, Nishimura N, Endo S, Fujiwara S, Wada N, Kawano Y, Okuno Y, Sugimoto T, Hata H: Bufalin induces DNA damage response under hypoxic condition in myeloma cells. *Oncol Lett* 15(5): 6443-6449, 2018.

6) 杉本 俊哉, 田崎 雅義, 山下 太郎, 植田 光晴,

安東 由喜雄, 大林 光念, 奥野 豊, 畑 裕之: AL アミロイドーシスにおける質量分析を用いた沈着ペプチド解析. *臨床血液* 58(6): 589-594, 2017.

7) 河野 和, 畑 裕之: マクログロブリン血症の診断と治療. *内科* 120(4): 945-948, 2017

小池春樹

1) Koike H, Nishi R, Ikeda S, Kawagashira Y, Iijima M, Atsuta N, Nakamura T, Hiayama M, Ogata H, Yamasaki R, Kira JI, Katsuno M, Sobue G: Restoration of a conduction block after the long-term treatment of CIDP with anti-neurofascin 155 antibodies: follow-up of a case over 23 years. *Intern Med* in press.

2) Koike H, Katsuno M, Sobue G: Deciphering mechanism and spectrum of chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy by morphology. *Clin Exp Neuroimmunol* 9: 35-46, 2018.

3) Koike H, Nakamura T, Hashizume A, Nishi R, Ikeda S, Kawagashira Y, Iijima M, Katsuno M, Sobue G: Cardiac and peripheral vasomotor autonomic functions in late-onset transthyretin Val30Met familial amyloid polyneuropathy. *J Neurol* 264(11): 2293-2302, 2017.

4) Koike H, Kadoya M, Kaida K, Ikeda S, Kawagashira Y, Iijima M, Kato D, Ogata H, Yamasaki R, Matsukawa N, Kira JI, Katsuno M, Sobue G: Paranodal dissection in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy with anti-neurofascin 155 and anti-contactin 1 antibodies. *J Neurol Neurosurg Psychiatry* 88(6): 465-473, 2017.

5) Koike H, Ikeda S, Takahashi M, Kawagashira Y, Iijima M, Misumi Y, Ando Y, Ikeda SI, Katsuno M, Sobue G. Disruption of blood-nerve barriers in hereditary transthyretin (ATTR) amyloidosis. *Amyloid* 24(sup1): 89-90, 2017

6) Koike H, Nakamura T, Ikeda S, Takahashi M, Kawagashira Y, Iijima M, Katsuno M, Sobue G: Alcoholic myelopathy and nutritional deficiency. *Intern Med* 56(1): 105-108, 2017.

7) Sekijima Y, Yazaki M, Ueda M, Koike H, Yamada M, Ando Y: First nationwide survey on systemic wild-type ATTR amyloidosis in Japan. *Amyloid* in

press.

8) Ikumi K, Tsuboi T, Atsuta N, Takeuchi K, Koike H, Katsuno M: Long-standing overt ventriculomegaly without aqueductal stenosis: a case report. *Neurol Clin Neurosci* 6: 42-44, 2018.

9) Sekijima Y, Ueda M, Koike H, Misawa S, Ishii T, Ando Y: Diagnosis and management of transthyretin familial amyloid polyneuropathy in Japan: red-flag symptom clusters and treatment algorithm. *Orphanet J Rare Dis* 13(1): 6, 2018.

10) Takahashi M, Koike H, Ikeda S, Kawagashira Y, Iijima M, Hashizume A, Katsuno M, Sobue G: Distinct pathogenesis in non-systemic vasculitic neuropathy and microscopic polyangiitis. *Neurol Neuroimmunol Neuroinflamm* 4(6): e407, 2017.

11) Kawagashira Y, Koike H, Kawabata K, Takahashi M, Ohyama K, Hashimoto R, Iijima M, Katsuno M, Sobue G: Vasculitic neuropathy following exposure to a glyphosate-based herbicide. *Intern Med* 56(11): 1431-1434, 2017.

12) Noda S, Koike H, Maeshima S, Nakanishi H, Iijima M, Matsuo K, Kimura S, Katsuno M, Sobue G: Transforming growth factor- β signaling is upregulated in sporadic inclusion body myositis. *Muscle Nerve* 55(5): 741-747, 2017.

13) 小池 春樹: 四肢のしびれ. *レジデントノート* 18(17): 3054-3057, 2017.

14) 小池 春樹: 家族性アミロイドポリニューロパチーの病理所見. *自律神経* 54(4): 295-305, 2017.

15) 小池 春樹: ジカウイルスとギラン・バレー症候群. *BRAIN and NERVE* 70(2): 113-120, 2018.

島崎千尋

1) Shimazaki C, Hata H, Iida S, Ueda M, Katoh N, Sekijima Y, Ikeda S, Yazaki M, Fukushima W, Ando Y: Nationwide survey of 741 patients with systemic amyloid light-chain amyloidosis in Japan. *Intern Med* 57(2): 181-187, 2018.

2) Kitazawa F, Fuchida S, Ise F, Kado Y, Ueda K, Kokufu T, Okano A, Hatsuse M, Murakami S, Nakayama Y, Takara K, Shimazaki C: Combination of lenalidomide and low-dose dexamethasone therapy

promotes the anticoagulant activity of warfarin in patients with immunoglobulin light-chain amyloidosis. *Oncol Letters* 14(1): 475-479, 2017.

3) Kitazawa F, Fuchida S, Kado Y, Ueda K, Kokufu T, Okano A, Hatsuse M, Murakami S, Nakayama Y, Takara K, Shimazaki C: Pharmacokinetic interaction between tacrolimus and fentanyl in patients receiving allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. *Ann Transplant* 22: 575-580, 2017.

4) Ri M, Matsue K, Sunami K, Shimazaki C, Hayashi A, Sunaga Y, Sasaki T, Suzuki K: Efficacy and safety of plerixafor for the mobilization/collection of peripheral hematopoietic stem cells for autologous transplantation in Japanese patients with multiple myeloma. *Int J Hematol* 106(4): 562-572, 2107.

5) 淵田 真一, 島崎 千尋: 原発性アミロイドーシスの病態と治療. *血液内科* 74(2): 218-225, 2017.

飯田真介

1) Shimazaki C, Hata H, Iida S, Ueda M, Katoh N, Sekijima Y, Ikeda S, Yazaki M, Fukushima W, Ando Y: Nationwide survey of 741 patients with systemic amyloid light-chain amyloidosis in Japan. *Intern Med* 57(2): 181-187, 2018.

植田光晴

1) Huang G, Ueda M, Tasaki M, Yamashita T, Misumi Y, Masuda T, Suenaga G, Inoue Y, Kinoshita Y, Matsumoto S, Mizukami M, Tsuda Y, Nomura T, Obayashi K, Ando Y: Clinicopathological and biochemical findings of thyroid amyloid in hereditary transthyretin amyloidosis with and without liver transplantation. *Amyloid* 24: 24-29, 2017.

2) Oda S, Utsunomiya D, Nakaura T, Yuki H, Kidoh M, Morita K, Takashio D, Yamamuro M, Izumiya Y, Hirakawa K, Ishida T, Tsujita K, Ueda M, Yamashita T, Ando Y, Hata H, Yamashita Y: Identification and assessment of cardiac amyloidosis by myocardial strain analysis of cardiac magnetic resonance imaging. *Circ J* 81: 1014-1021, 2017.

3) Misumi Y, Ueda M, Yamashita T, Masuda T, Kinoshita Y, Tasaki M, Nagase T, Ando Y: Novel

screening for transthyretin amyloidosis by using fat ultrasonography. *Ann Neurol* 81: 604-608, 2017.

4) Masuda T, Ueda M, Suenaga G, Misumi Y, Tasaki M, Izaki A, Yanagisawa Y, Inoue Y, Motokawa H, Matsumoto S, Mizukami M, Arimura A, Deguchi T, Nishio Y, Yamashita T, Inomata Y, Obayashi K, Ando Y: Early skin denervation in hereditary and iatrogenic transthyretin amyloid neuropathy. *Neurology* 88: 2192-2197, 2017.

5) Oda S, Utsunomiya D, Nakaura T, Morita K, Komi M, Yuki H, Kidoh M, Hirata K, Funama Y, Yamamuro M, Ogawa H, Ueda M, Yamashita T, Ando Y, Yamashita Y: Cardiovascular magnetic resonance myocardial T1 mapping to detect and quantify cardiac involvement in familial amyloid polyneuropathy. *Eur Radiol* 27: 4631-4638, 2017.

6) Suenaga G, Ikeda T, Masuda T, Motokawa H, Yamashita T, Takamatsu K, Misumi Y, Ueda M, Matsui H, Senju S, Ando Y: Inflammatory state exists in familial amyloid polyneuropathy that may be triggered by mutated transthyretin. *Sci Rep* 7: 1579, 2017.

7) Inoue Y, Ueda M, Tasaki M, Takeshima A, Nagatoshi A, Masuda T, Misumi Y, Kosaka T, Nomura T, Mizukami M, Matsumoto S, Yamashita T, Takahashi H, Kakita A, Ando Y: Sushi repeat-containing protein 1: a novel disease-associated molecule in cerebral amyloid angiopathy. *Acta Neuropathol* 134: 605-617, 2017.

8) Nagatoshi A, Ueda M, Ueda A, Tasaki M, Inoue Y, Ma M, Masuda T, Mizukami M, Matsumoto S, Kosaka T, Kawano T, Ito T, Ando Y: Serum amyloid P component: a novel potential player in vessel degeneration in CADASIL. *J Neurol Sci* 379: 69-76, 2017.

9) Nishi S, Hoshino J, Yamamoto S, Fuji H, Goto S, Ubara Y, Motomiya Y, Morita H, Takaichi K, Yamagata K, Shigematsu T, Ueda M, Ando Y: A multicenter cross sectional study for dialysis related amyloidosis in Japan. *Nephrology* 2018 in press.

10) Takashio S, Yamamuro M, Izumiya Y, Hirakawa K, Marume K, Yamamoto M, Ueda M, Yamashita T, Ishibashi-Ueda H, Yasuda S, Ogawa H, Ando Y, Anzai

T, Tsujita K: Diagnostic utility of cardiac troponin T level in patients with cardiac amyloidosis. *ESC Heart Fail* 5: 27-35, 2018.

11) Yamashita T, Ueda M, Misumi Y, Masuda T, Nomura T, Tasaki M, Takamatsu K, Sasada K, Obayashi K, Matsui H, Ando Y: Genetic and clinical characteristics of hereditary transthyretin amyloidosis in endemic and non-endemic areas: experience from a single-referral center in Japan. *J Neurol* 265: 134-140, 2018.

12) Okada M, Misumi Y, Ueda M, Yamashita T, Masuda T, Tasaki M, Ando Y: A novel transthyretin variant V28S (p.V48S) with a double-nucleotide substitution in the same codon. *Amyloid* 24: 231-232, 2017.

13) Shimazaki C, Hata H, Iida S, Ueda M, Katoh N, Sekishima Y, Ikeda S, Yazaki M, Fukushima W, Ando Y: Nationwide survey of 741 patients with systemic amyloid light-chain amyloidosis in Japan. *Intern Med* 57: 181-187, 2018.

14) Sekijima, Y, Yazaki M, Ueda M, Koike H, Yamada M, Ando Y: First nationwide survey on wild-type ATTR amyloidosis in Japan. *Amyloid* 25: 8-10, 2018.

15) Shinriki S, Jono H, Maeshiro M, Nakamura T, Guo J, Li JD, Ueda M, Yoshida R, Shinohara M, Nakayama H, Matsui H, Ando Y: Loss of CYLD promotes cell invasion via ALK5 stabilization in oral squamous cell carcinoma. *J Pathol* 244: 367-379, 2018.

16) Ikeda T, Masuda T, Ueda M, Yamashita T, Misumi Y, Ando Y: Unwanted road to anemia in transthyretin familial amyloid polyneuropathy may continue irrespective of tafamidis treatment. *Ann Clin Biochem* 2018 in press.

17) Adams D, Gonzalez-Duarte A, O'Riordan W, Yang C, Ueda M, Kristen A, Tournev I, Schmidt H, Coelho T, Berk J, Lin K, Vita G, Attarian S, Plante-Bordeneuve V, Mezei M, Campistol J, Buades J, Brannagan T, Kim B, Oh J, Parman Y, Sekijima Y, Hawkins P, Solomon S, Polydefkis M, Dyck P, Gandhi P, Goyal S, Chen J, Strahs A, Nochur S, Sweetser M, Garg P, Vaishnav A, Gollob J, Suhr O: Patisiran, a RNAi therapeutic, for hereditary transthyretin

amyloidosis. *N Engl J Med* 2018 in press.

18) 植田 光晴, 山下 太郎, 安東 由喜雄: アミロイドーシスの診断. 安東 由喜雄, 植田 光晴 編集, 最新 アミロイドーシスのすべて—診療ガイドライン 2017 と Q&A, 医歯薬出版 (東京) 17-23, 2017.

大橋健一

1) Iwadata D, Hasegawa E, Hoshino J, Hayami N, Sumida K, Yamanouchi M, Sekine A, Kawada M, Hiramatsu R, Suwabe T, Sawa N, Yuasa M, Wake A, Fujii T, Ohashi K, Takaichi K, Ubara Y: The Long-term outcomes after VAD plus SCT therapy in a patient with AL amyloidosis and severe factor X deficiency. *Intern Med* 57(5): 701-706, 2018.

2) Yabuuchi J, Hayami N, Hoshino J, Sumida K, Suwabe T, Ueno T, Sekine A, Kawada M, Yamanouchi M, Hiramatsu R, Hasegawa E, Sawa N, Takaichi K, Fujii T, Ohashi K, Migita K, Masaki T, Ubara Y: AA amyloidosis and atypical familial Mediterranean fever with exon 2 and 3 mutations. *Case Rep Nephrol Dial* 7(2): 102-107, 2017.

小野賢二郎

1) Komatsu J, Matsunari I, Samuraki M, Shima K, Noguchi-Shinohara M, Sakai K, Hamaguchi T, Ono K, Matsuda H, Yamada M: Optimization of DARTEL settings for the detection of Alzheimer's disease. *AJNR*, in press.

2) Ono K: Alzheimer's disease as oligomeropathy. *Neurochem Int* in press.

3) Ho L*, Ono K*, Tsuji M, Mazzola P, Singh R, Pasinetti GM: *Equally contributed: Protective roles of intestinal microbiota derived short chain fatty acids in Alzheimer's disease-type β -amyloid neuropathological mechanisms. *Expert Rev Neurother* 18(1): 83-90, 2017.

4) Ibrahim NF, Yanagisawa D, Durani LW, Hamezah HS, Damanhuri HA, Wan Ngah WZ, Tsuji M, Kiuchi Y, Ono K, Tooyama I: Tocotrienol-rich fraction modulates amyloid pathology and improves cognitive function in A β PP/PS1 mice. *J Alzheimers Dis* 55(2): 597-612, 2017.

- 5) Noguchi-Shinohara M, Komatsu J, Samuraki M, Matsunari I, Ikeda T, Sakai K, Hamaguchi T, Ono K, Nakamura H, Yamada M: Cerebral amyloid angiopathy-related microbleeds and cerebrospinal fluid biomarkers in Alzheimer's disease. *J Alzheimers Dis* 55(3): 905-913, 2017.
- 6) Oguchi T, Ono R, Tsuji M, Shozawa H, Somei M, Inagaki M, Mori Y, Yasumoto T, Ono K, Kiuchi Y: Corresponding author: Cilostazol suppresses A β -induced neurotoxicity in SH-SY5Y cells through inhibition of oxidative stress and MAPK signaling pathway. *Front Aging Neurosci* 9: 337, 2017.
- 7) Sakai K, Asakawa M, Takahashi R, Ishida C, Nakamura R, Hamaguchi T, Ono K, Iwasa K, Yamada M: Coexistence of transthyretin- and A β -type cerebral amyloid angiopathy in a patient with hereditary transthyretin V30M amyloidosis. *J Neurol Sci* 381: 144-146, 2017.
- 8) 中山 隆宏, 紺野 宏記, 山田 正仁, 小野 賢二郎: 高速 AFM によるタンパク質集合体のダイナミクスの観察. *生物物理* (印刷中)
- 9) 小野 賢二郎: ポリフェノールによる認知症予防. *日本臨床* 76: 196-200, 2018.
- 10) 小野 賢二郎: アミロイド凝集とオリゴマー仮説・アミロイドからオリゴマーへ・世界の研究の移り変わり. *実験医学* 35: 186-191, 2017.
- light-chain (AL) amyloidosis: a retrospective single-center study. *Int J Hematol* 105(3): 341-348, 2017.
- 4) Schonhoft JD, Monteiro C, Plate L, Eisele YS, Kelly JM, Boland D, Parker CG, Cravatt BF, Teruya S, Helmke S, Maurer M, Berk J, Sekijima Y, Novais M, Coelho T, Powers ET, Kelly JW: Peptide probes detect misfolded transthyretin oligomers in plasma of hereditary amyloidosis patients. *Sci Transl Med* 9(407), 2017.
- 5) Sekijima Y, Ueda M, Koike H, Misawa S, Ishii T, Ando Y: Diagnosis and management of transthyretin familial amyloid polyneuropathy in Japan: red-flag symptom clusters and treatment algorithm. *Orphanet J Rare Dis* 13(1): 6, 2017.
- 6) Shibata Y, Matsushima M, Yabe I, Matsuda K, Nagai A, Kano T, Yamada T, Sekijima Y, Sasaki H: Pseudo-homozygous mutation due to a primer site polymorphism in hereditary ATTR amyloidosis: a pitfall of PCR-based genetic testing. *Amyloid* 24(1): 66-67, 2017.
- 7) Shimazaki C, Hata H, Iida S, Ueda M, Katoh N, Sekijima Y, Ikeda S, Yazaki M, Fukushima W, Ando Y: Nationwide survey of 741 patients with systemic amyloid light-chain amyloidosis in Japan. *Intern Med* 57(2): 181-187, 2017.
- 8) Yazaki M, Yoshinaga T, Sekijima Y, Kametani F, Okumura N: Hereditary fibrinogen A α -chain amyloidosis in Asia: Clinical and molecular characteristics. *Int J Mol Sci* 19(1), 2017.
- 9) Yoshinaga T, Yazaki M, Ohno M, Kodama S, Koyama J, Sekijima Y: Cardiac amyloidosis associated with amyloidogenic transthyretin V122I variant in an elderly Japanese woman. *Circulation Journal* 81(6): 893-894, 2017.
- 10) Yoshinaga T, Yazaki M, Kametani F, Sekijima Y, Iesato Y, Miyahara T, Tsuchiya-Suzuki A, Sano K, Higuchi E, Ikeda S: Marked biochemical difference in amyloid proportion between intra- and extraocular tissues in a liver-transplanted patient with hereditary ATTR amyloidosis. *Amyloid* 24(1): 17-23, 2017.
- 11) 関島 良樹: 遺伝性 ATTR アミロイドーシス. *Clinical Neuroscience* 36(2): 198-199, 2018.

関島良樹

- 1) Ezawa N, Katoh N, Oguchi K, Yoshinaga T, Yazaki M, Sekijima Y: Visualization of multiple organ amyloid involvement in systemic amyloidosis using 11C-PiB PET imaging. *Eur J Nucl Med Mol Imaging* 45(3) :452-461, 2018.
- 2) Fujita T, Inomata T, Kaida T, Iida Y, Ikeda Y, Nabeta T, Ishii S, Maekawa E, Naruke T, Koitabashi T, Kitamura E, Sekijima Y, Ako J: Tafamidis for the treatment of hereditary transthyretin amyloid cardiomyopathy: A case report. *Cardiology* 137(2): 74-77, 2017.
- 3) Katoh N, Ueno A, Yoshida T, Tazawa K, Shimojima Y, Gono T, Sekijima Y, Matsuda M, Ikeda SI: Bortezomib-dexamethasone versus high-dose melphalan for Japanese patients with systemic

- 12) 関島 良樹: 遺伝性 ATTR (ATTRm) アミロイドーシス. 水澤 英洋他編集: 神経疾患最新の治療 2018-2020, 267-269, 南江堂, 東京, 2018.
- 13) 関島 良樹: Case approach FAP. 神田 隆編集: 神経内科 Clinical Questions & Pearls 末梢神経障害, 200-203, 中外医学社, 東京, 2018.
- 14) 関島 良樹: アミロイドーシスの最新治療. 上田 光晴編集. 最新アミロイドーシスのすべて—診療ガイドライン 2017 と Q&A, 24-29, 医歯薬出版, 東京, 2017.
- 15) 吉長 恒明, 関島 良樹: CQ1-7 at risk の患者家族に対する遺伝子検査はどのように行われるべきか?. 上田 光晴編集. 最新アミロイドーシスのすべて—診療ガイドライン 2017 と Q&A, pp64-65, 医歯薬出版, 東京, 2017.
- 16) 吉長 恒明, 関島 良樹: CQ1-8 TTR 遺伝子変異を有する未発症者に対する診療やケアはどのようにするべきか?. 上田 光晴編集, 最新アミロイドーシスのすべて—診療ガイドライン 2017 と Q&A, 66, 医歯薬出版, 東京, 2017.
- 17) 関島 良樹: TTR 四量体安定化薬. 辻 省次編集: 神経疾患治療ストラテジー 既存の治療・新規治療・今後の治療と考え方, 418-423, 中山書店, 東京, 2017.
- 18) 関島 良樹: アミロイドーシス. 福井 次矢他編集: 今日の治療指針, 725-726, 医学書院, 東京, 2017.
- 19) 関島 良樹: アミロイドニューロパチー. 福井 次矢他編集: 今日の治療指針, 943-944, 医学書院, 東京, 2017.

佐野元昭

- 1) Tanaka M, Kohno T, Obara H, Nakatsuka S, Nishiyama T, Nishiyama N, Tsuruta H, Murata M, Maekawa Y, Yoshitake A, Sano M, Shimizu H, Fukuda K: Progressive mycotic celiac artery aneurysm associated with coagulase-negative Staphylococcal prosthetic valve endocarditis. *Circ J* 2017.
- 2) Kimura M, Tamura Y, Guignabert C, Takei M, Kosaki K, Tanabe N, Tatsumi K, Saji T, Satoh T, Kataoka M, Kamitsuji S, Kamatani N, Thuillet R, Tu L, Humbert M, Fukuda K, Sano M: A genome-wide

- association analysis identifies PDE1A|DNAJC10 locus on chromosome 2 associated with idiopathic pulmonary arterial hypertension in a Japanese population. *Oncotarget* 8(43): 74917-74926, 2017.
- 3) Shirakawa K, Endo J, Katsumata Y, Yamamoto T, Kataoka M, Isobe S, Yoshida N, Fukuda K, Sano M: Negative legacy of obesity. *PLoS One* 12(10): e0186303, 2017.
- 4) Tanaka H, Kataoka M, Isobe S, Yamamoto T, Shirakawa K, Endo J, Satoh T, Hakamata Y, Kobayashi E, Sano M, Fukuda K: Therapeutic impact of dietary vitamin D supplementation for preventing right ventricular remodeling and improving survival in pulmonary hypertension. *PLoS One* 12(7): e0180615, 2017.
- 5) Matsuoka T, Suzuki M, Sano M, Hayashida K, Tamura T, Homma K, Fukuda K, Sasaki J: Hydrogen gas inhalation inhibits progression to the "irreversible" stage of shock after severe hemorrhage in rats. *J Trauma Acute Care Surg* 83(3): 469-475, 2017.
- 6) Katsumata Y, Sano F, Abe T, Tamura T, Fujisawa T, Shiraishi Y, Kohsaka S, Ueda I, Homma K, Suzuki M, Okuda S, Maekawa Y, Kobayashi E, Hori S, Sasaki J, Fukuda K, Sano M: The effects of hydrogen gas inhalation on adverse left ventricular remodeling after percutaneous coronary intervention for ST-elevated myocardial infarction - First pilot study in Humans. *Circ J* 81(7): 940-947, 2017.
- 7) Kakefuda Y, Hayashida K, Yamada Y, Yashima F, Inohara T, Yanagisawa R, Tanaka M, Arai T, Kawakami T, Maekawa Y, Tsuruta H, Itabashi Y, Murata M, Sano M, Okamoto K, Yoshitake A, Shimizu H, Jinzaki M, Fukuda K: Impact of subclinical vascular complications detected by systematic postprocedural multidetector computed tomography after transcatheter aortic valve implantation using balloon-expandable edwards SAPIEN XT heart valve. *Am J Cardiol* 119(7): 1100-1105, 2017.
- 8) Ono T, Kamimura N, Matsushashi T, Nagai T, Nishiyama T, Endo J, Hishiki T, Nakanishi T, Shimizu N, Tanaka H, Ohta S, Suematsu M, Ieda M, Sano M, Fukuda K, Kaneda R. The histone 3 lysine 9

methyltransferase inhibitor chaetocin improves prognosis in a rat model of high salt diet-induced heart failure. *Sci Rep* 7: 39752, 2017.

9) Tamura T, Hayashida K, Sano M, Onuki S, Suzuki M: Efficacy of inhaled HYdrogen on neurological outcome following BRain Ischemia During post-cardiac arrest care (HYBRID II trial): study protocol for a randomized controlled trial. *Trials* 18(1): 488, 2017.

田原宣広

1) Nakamura T, Masumoto A, Tahara N, Kuroda Y, Fukumoto Y: Acute heart failure caused by mechanical valve leaflet dislodgment at the mitral position. *Eur Heart J* 38(10): 761, 2017.

2) Nakamura T, Tahara N, Tahara A, Honda A, Bekki M, Sugiyama Y, Sun J, Kumagai E, Kurata S, Fujimoto K, Abe T, Igata S, Fukumoto Y: Myocardial metabolic improvement prior to electrocardiographic or volumetric changes of the right ventricle in pulmonary arterial hypertension. *J Nucl Cardiol* 25(1): 358-359, 2018.

3) Tanabe N, Ikeda S, Tahara N, Fukuda K, Hatano M, Ito H, Nakayama T, Anzai T, Hashimoto A, Inoue T, Kajinami K, Kihara Y, Kinoshita H, Kuwahara K, Murohara T, Okazaki O, Sakai S, Satoh T, Takeda Y, Takeishi Y, Taniguchi M, Watanabe H, Yamamoto T, Yamauchi-Takihara K, Yoshioka K, Sasayama S: Efficacy and safety of an orally administered selective prostacyclin receptor agonist, selexipag, in Japanese patients with pulmonary arterial hypertension. *Circ J* 81(9): 1360-1367, 2017.

4) Tahara A, Tahara N, Yamagishi SI, Honda A, Igata S, Nitta Y, Bekki M, Nakamura T, Sugiyama Y, Sun J, Takeuchi M, Shimizu M, Yamazaki H, Fukami K, Fukumoto Y: Ratio of serum levels of AGEs to soluble RAGE is correlated with trimethylamine-N-oxide in non-diabetic subjects. *Int J Food Sci Nutr* 68(8): 1013-1020, 2017.

5) Nakamura T, Tahara N, Tahara A, Honda A, Igata S, Bekki M, Sugiyama Y, Sun J, Kumagai E, Kurata S, Fujimoto K, Abe T, Kato S, Tanaka H, Fukumoto Y: Right ventricular workload assessed by FDG-PET in a

patient with residual VSD and infundibular pulmonary stenosis after repair of tetralogy of Fallot. *J Nucl Cardiol* 2017.

6) Iwanaga J, Watanabe K, Saga T, Tahara N, Tabira Y, Sakuragi A, Kaji K, Takahashi K, Yamaki KI: Anatomical and radiological analyses of L-shaped kidney with vascular anomalies. *Kurume Med J* 64(1.2): 21-24, 2018.

7) Nakamura T, Ogo T, Tahara N, Fukui S, Tsuji A, Ueda J, Fukumoto Y, Nakanishi N, Ogawa H, Yasuda S: Thalidomide for hereditary hemorrhagic telangiectasia with pulmonary arterial hypertension. *Circ J* 82(4): 1205-1207, 2018.

8) Yamaki T, de Haas HJ, Tahara N, Petrov A, Mohar D, Haider N, Zhou J, Tahara A, Takeishi Y, Boersma HH, Scarabelli T, Kini A, Strauss HW, Narula J: Cardioprotection by minocycline in a rabbit model of ischemia/reperfusion injury: Detection of cell death by in vivo 111In-GSAO SPECT. *J Nucl Cardiol* 25(1): 94-100, 2018.

9) Saku K, Tahara N, Takagi K, Imai S, Takaseya T, Kurata S, Fujimoto K, Abe T, Fukumoto Y, Tanaka H: Inflammatory activity of degenerated Freestyle valve 17 years after ROSS procedure. *J Nucl Cardiol* 2017.

10) Chibana H, Tahara N, Itaya N, Ishimatsu T, Sasaki M, Sasaki M, Nakayoshi T, Ohtsuka M, Yokoyama S, Sasaki KI, Ueno T, Fukumoto Y: Pulmonary artery dysfunction in chronic thromboembolic pulmonary hypertension. *Int J Cardiol Heart Vasc* 17: 30-32, 2017.

11) Saku K, Shintani Y, Tahara N, Kikusaki S, Imai S, Shojima T, Takagi K, Kurata S, Fujimoto K, Abe T, Fukumoto Y, Tanaka H: Inflammatory reaction of a pericardial foreign body after cardiac surgery. *J Nucl Cardiol* 2018.

12) Kaida H, Azuma K, Toh U, Kawahara A, Sadashima E, Hattori S, Akiba J, Tahara N, Rominger A, Ishii K, Murakami T, Ishibashi M: Correlations between dual-phase 18F-FDG uptake and clinicopathologic and biological markers of breast cancer. *Hell J Nucl Med* 21(1): 35-42, 2018.

13) Bekki M, Tahara N, Tahara A, Honda A, Igata S, Sugiyama Y, Nakamura T, Sun J, Kurata S, Fujimoto K,

Abe T, Tanaka H, Suda K, Fukumoto Y:
Anti-inflammatory effect of statin in coronary aneurysms late after Kawasaki disease. *J Nucl Cardiol* 2018.

14) Bekki M, Tahara N, Tahara A, Igata S, Honda A, Sugiyama Y, Nakamura T, Sun J, Kumashiro Y, Mastui T, Fukumoto Y, Yamagishi SI: Switching dipeptidyl peptidase-4 inhibitors to tofogliflozin, a selective inhibitor of sodium-glucose cotransporter 2 improves arterial stiffness evaluated by cardio-ankle vascular index in patients with type 2 diabetes: a pilot study: *Curr Vasc Pharmacol* 2018 in press.

2. 学会発表

内木宏延

1) Yamada M, Hamaguchi T, Taniguchi Y, Sakai K, Kitamoto T, Takao M, Murayama S, Iwasaki Y, Yoshida M, Shimizu H, Kakita A, Takahashi H, Suzuki H, Naiki H, Sanjo N, Mizusawa H: Possible human-to-human transmission of cerebral β -amyloidosis via cadaveric dura mater grafting. Alzheimer's Association International Conference (AAIC) 2017, London, July 16-20, 2017.

2) Yamaguchi I, Kokubo Y, Yamashita T, Ueda M, Okoshi T, Matsumine A, Ando Y, Naiki H: Class I small leucine-rich proteoglycans (SLRPs) colocalize with the A β 2M amyloid deposits: Implications for the roles of SLRP core proteins in the pathogenesis of dialysis-related amyloidosis. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, March 26-29, 2018.

安東由喜雄

1) Ikenoshita S, Ikeda T, Yamashita S, Sakamoto F, Shiraishi S, Nakahara K, Masuda T, Ando Y: Evaluation of MIBG scintigraphy in the movement disorder society Parkinson's disease criteria. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sept 17, 2017.

2) Nakahara K, Nakane S, Ando Y: Correlation of heart rate variability analysis and MIBG myocardial scintigraphy in patients with PD. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto,

Japan, Mar. 26-29, 2018.

3) Inoue Y, Ueda M, Masuda T, Misumi Y, Yamashita T, Ando Y: Memantine attenuates vascular amyloid β deposits and spontaneous hemorrhages in mouse models of cerebral amyloid angiopathy, Alzheimer's Association International Conference 2017 (AAIC), London, UK., July 18, 2017.

4) Ueda M, Masuda T, Ando Y: Early skin denervation in transthyretin amyloid neuropathy. Driving change: Novel research into early screening and diagnosis of hereditary transthyretin amyloidosis polyneuropathy. PNS 2017 annual meeting, Sitges, Spain, July 8-12, 2017.

5) Ueda M, Misumi Y, Masuda T, Tsuda Y, Inoue Y, Tasaki M, Yamashita T, Ando Y: Amyloid formation and toxicity of fragmented transthyretin. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, September 16-21, 2017.

6) Ueda M, Tasaki M, Inoue Y, Ando Y: Novel findings of amyloidosis: Analyses by mass spectrometry. Clinical Mass Spectrometry Meeting Anatomical and Chemical Pathology. The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine. November 15-18, 2017, Kyoto, Japan.

7) Ueda M, Masuda T, Misumi Y, Tasaki M, Inoue Y, Yamashita T, Ando Y: Novel diagnostic and treatment strategies in amyloidosis. Medical and Nursing Symposium between Shandong University and Kumamoto University, Shandong, China, December 15, 2017.

8) Masuda T, Ueda M, Misumi Y, Nomura T, Tasaki M, Yamashita T, Obayashi K, Ando Y: Skin denervation in patients with hereditary and wild-type transthyretin amyloidosis. International Society for Autonomic Neuroscience, Aichi, Japan, Aug 30- Sep 2, 2017.

9) Masuda T, Ueda M, Misumi Y, Suenaga G, Matsumoto S, Nomura T, Tasaki M, Yamashita T, Obayashi K, Ando Y: Impact of skin denervation in patients with wild-type transthyretin amyloidosis. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sept 17, 2017.

- 10) Nagatoshi C, Masuda T, Ueda M, Misumi Y, Nomura T, Tasaki M, Yamashita T, Obayashi K, Ando Y: Pupillary autonomic nervous dysfunction in hereditary transthyretin amyloidosis. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sept 16-21, 2017.
- 11) Masuda T, Ueda M, Misumi Y, Matsumoto S, Nomura T, Tasaki M, Yamashita T, Sonoda Y, Obayashi K, Ando Y: Quantification of skin denervation in patients with transthyretin amyloid neuropathy. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 12) Masuda T, Ueda M, Nagatoshi C, Misumi Y, Nomura T, Tasaki M, Yamashita T, Obayashi K, Ando Y: Pupillary autonomic dysfunction as an early biomarker in patients with hereditary transthyretin amyloidosis. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Mar 26-29, 2018, Kumamoto, Japan
- 13) Masataka Y, Masuda T, Yamashita T, Ueda M, Misumi Y, Ando T, Masuyama T, Ando Y: Two siblings with hereditary transthyretin amyloidosis: a rare TTR variant T49S (p.T69S). The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 14) Tsuda Y, Ueda M, Yamanaka K, Masuda T, Misumi Y, Ogura T, Ando Y: A transgenic *Caenorhabditis elegans* expressing transthyretin as a model in transthyretin amyloidosis. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 15) Tsuda Y, Higashimoto Y, Fukasawa K, Motomiya Y, Ando Y: DNA aptamer raised against the C-terminal domain of $\beta 2$ -microglobulin inhibits the fibrillogenesis of N6 β 2m. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 16) Nomura T, Misumi Y, Ueda M, Masuda T, Yamashita T, Ando Y: Amyloid angiopathy in hereditary transthyretin amyloidosis. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sept 16-21, 2017.
- 17) Nomura T, Ueda M, Matsumoto S, Mizukami M, Nakamura M, Kanenawa K, Tsuda Y, Inoue Y, Masuda T, Misumi Y, Yamashita T, Ando Y: Rapid detection of mutated transthyretin using direct MALDI-TOF MS. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, March 26-29, 2018.
- 18) Kanenawa K, Ueda M, Matsumoto S, Mizukami M, Isoguchi A, Yamamoto S, Tsuda Y, Misumi Y, Masuda T, Obayashi K, Yamashita T, Ando Y: Analyses of prostatic corpora amylacea. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 19) Matsumoto S, Ueda M, Tasaki M, Misumi Y, Masuda T, Mizukami M, Kanenawa K, Nakamura M, Obayashi K, Yamashita T, Ando Y: Transthyretin fragments in peripheral blood cells. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 20) Nakamura M, Misumi Y, Oka W, Nomura T, Mizukami M, Matsumoto S, Ueda M, Yamashita T, Ando Y: Mechanism of the insulin resistance at the site of insulin amyloidoma. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 21) Y. Ando: Transthyretin related amyloidosis -diagnosis, pathogenesis, and therapies-. Pre-Conference Seminar of the 5th Hong Kong Neurological Congress and 30th Annual Scientific Meeting of the Hong Kong Neurological Society, Hong Kong, Nov 10, 2017.
- 22) Yamashita T, Ueda M, Misumi Y, Masuda T, Nomura T, Tasaki M, Takamatsu K, Sasada K, Obayashi K, Matsui H, Ando Y: Genetical and geographical features of hereditary transthyretin amyloidosis in Japan. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 23) Yamashita T, Ueda M, Nomura T, Tsuda Y, Inoue Y, Masuda T, Misumi Y, Takamatsu K, Obayashi K, Ando Y: Is liver transplantation effective for non-V30M hereditary transthyretin amyloidosis ?. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.
- 24) Yamashita T, Kato Y, Ueda M, Inoue Y, Masuda T, Misumi Y, Nomura T, Watari M, Obayashi K, Ando Y:

Tafamidis or transplantation of the liver: Which should be chosen for hereditary transthyretin amyloidosis? The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.

25) Yamashita T, Ohnishi K, Ueda M, Masuda T, Inoue Y, Misumi Y, Ueda A, Obayashi K, Takeya M, Ando Y: Transthyretin amyloid-related cerebral angitis after liver transplantation. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.

26) Yamashita T, Ueda M, Misawa S, Inoue Y, Masuda T, Misumi Y, Takamatsu K, Obayashi K, Kuwabara S, Ando Y: Changes in nerve excitability indices in hereditary transthyretin amyloidosis. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.

27) Yamashita T, Sekijima Y, Koike H, Ueda M, Yoshinaga T, Kodaira M, Sobue G, Katsuno M, Singh T, Hashimoto Y, Kadam K, A Hou, Ando Y: Patisiran, an investigational RNAi therapeutic for patients with hereditary transthyretin-mediated (hATTR) amyloidosis: Phase 3 APOLLO study subanalysis of Japanese patients. The XVIth International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar. 26-29, 2018.

28) 井上 泰輝, 植田 光晴, 田崎 雅義, 竹島 明, 永利 聡仁, 増田 曜章, 三隅 洋平, 小阪 崇幸, 野村 隼也, 水上 真由美, 松本 紗也加, 山下 太郎, 高橋 均, 柿田 明美, 安東 由喜雄: 脳アミロイドアンギオパチーの新規病態関連因子 SRPX1 の解析. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017 .

29) 井上 泰輝, 植田 光晴, 田崎 雅義, 竹島 明, 永利 聡仁, 増田 曜章, 三隅 洋平, 小阪 崇幸, 野村 隼也, 水上 真由美, 松本 紗也加, 山下 太郎, 高橋 均, 柿田 明美, 安東 由喜雄: 脳アミロイドアンギオパチーの新規病態関連因子 SRPX1 の解析. 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24, 2017.

30) 三隅 洋平, 植田 光晴, 増田 曜章, 野村 隼也, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシス患者からドミノ肝移植を受けた二次レシピエントに生じる医原性ア

ミロイドーシスの臨床像の解析. 第 28 回日本末梢神経学会学術集会, 名古屋, 8,25-26, 2017.

31) 三隅 洋平, 安東 由喜雄: 遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシス早期診断のポイント. 第 28 回日本末梢神経学会学術集会, 名古屋, 8,25-26, 2017.

32) 植田 光晴, 安東 由喜雄: TTR アミロイドーシス実験モデルを用いた病態解析及び治療法の開発. シンポジウム「アミロイドーシス研究入門: 線維形成実験からマウスモデルまで」, 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017 .

33) 植田 光晴, 三隅 洋平, 増田 曜章, 水口 峰之, 井上 泰輝, 津田 幸元, 野村 隼也, 松本 紗也加, 水上 真由美, 金縄 京佑, 中村 真琴, 山下 太郎, 安東 由喜雄: トランスサイレチンフラグメントのアミロイド形成および細胞毒性の解析. 第 28 回日本末梢神経学会学術集会, 名古屋, 8,25-26, 2017.

34) 植田 明彦, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 遺伝性脳アミロイドアンギオパチー. 第 49 回日本動脈硬化学会, 広島, 7,6-7, 2017.

35) 増田 曜章, 植田 光晴, 安東 由喜雄: 生検皮膚組織を用いた ATTR アミロイドーシスの病態評価. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

36) 増田 曜章, 植田 光晴, 三隅 洋平, 野村 隼也, 松本 紗也加, 田崎 雅義, 小阪 崇幸, 山下 太郎, 大林 光念, 安東 由喜雄: 野生型トランスサイレチンアミロイドーシスにおける小径線維障害の検討. 第 28 回日本末梢神経学会学術集会, 名古屋, 8,25-26, 2017.

37) 津田 幸元, 植田 光晴, 山中 邦俊, 小椋 光, 安東 由喜雄: TTR アミロイド沈着を来たず線虫モデルの開発に向けた検討. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017 .

38) 野村 隼也, 三隅 洋平, 増田 曜章, 植田 光晴, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 遺伝性 ATTR アミロイドーシスにおける微小血管障害の解析. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017 .

39) 野村 隼也, 植田 光晴, 大嶋 俊範, 三隅 洋平, 増田 曜章, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 肝移植

後に長期経過した遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスの解析. 第 35 回日本神経治療学会総会, 埼玉, 11,16-18, 2017.

40) 金縄 京佑、津田 幸元、植田 光晴、山中 邦俊、小椋 光、安東 由喜雄: トランスサイレチンアミロイドーシス線虫モデルを用いた治療薬の検討. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

41) 松本 紗也加, 植田 光晴, 田崎 雅義, 三隅 洋平, 増田 曜章, 水上 真由美, 金縄 京佑, 中村 真琴, 大林 光念, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 血球成分におけるトランスサイレチン断片化機構の解析. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

42) 水上 真由美, 植田 光晴, 三隅 洋平, 増田 曜章, 松本 紗也加, 大林 光念, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 変異型 TTR Tyr114Cys 型遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシス新規モデルマウスの作成および病理・生化学的解析. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

43) 中村 真琴, 三隅 洋平, 木下 祐美子, 野村 隼也, 植田 光晴, 増田 曜章, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 線維芽細胞が TTR アミロイド沈着形態に与える影響に関する三次元培養系解析. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

山田正仁

1) Hamaguchi T, Yamada M: Transmission of amyloid β protein. Asian Pacific Prion Symposium (APPS2017), Melbourne, October 20-21, 2017.

2) Hayashi K, Kanemoto M, Sakai K, Endo K, Ueno T, Yamada M: Taste disturbance in hereditary transthyretin amyloidosis. XXIII World Congress of Neurology/58th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, Kyoto, September 16-21, 2017.

3) Ono K, Nakayama T, Itami M, Takahashi R, Teplow D, Yamada M: High-speed atomic force microscopy reveals structural dynamics of amyloid β 1-42 aggregates. Alzheimer's Association International Conference (AAIC) 2017, London, July 16-20, 2017.

4) Ono K, Nakayama T, Itami M, Takahashi R, Teplow

D, Yamada M: High-speed atomic force microscopy reveals structural dynamics of amyloid β 1-42 aggregates. XXIII World Congress of Neurology/58th Annual Meeting of the Japanese Society of Neurology, Kyoto, September 16-21, 2017.

5) Shinohara M, Komatsu J, Samuraki M, Matsunari I, Ikeda T, Sakai K, Hamaguchi T, Ono K, Nakamura H, Yamada M: Associations between cerebral amyloid angiopathy-related microbleeds and cerebrospinal fluid biomarkers in Alzheimer's disease. Alzheimer's Association International Conference (AAIC) 2017, London, July 16-20, 2017.

6) 小野 賢二郎, 中山 隆宏, 伊丹 将大, 高橋 良一, David Teplow, 山田正仁: 高速原子間力顕微鏡を用いた A β 42 凝集過程の観察 (2). 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.

7) 坂井 健二, 植田 光晴, 玉岡 晃, 東海林 幹夫, 安東 由喜雄, 山田 正仁: わが国における脳アミロイドアンギオパチーの全国疫学調査. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

8) Sakai K, Noguchi-Shinohara M, Yamada M: Cerebral amyloid angiopathy in Alzheimer's disease. 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.

9) 坂井 健二, 朝川 美和子, 高橋 良一, 石田 千穂, 中村 律子, 濱口 毅, 小野 賢二郎, 岩佐 和夫, 山田 正仁: Transthyretin 型と A β 型の脳アミロイドアンギオパチーが共存して認められた遺伝性 ATTR アミロイドーシス(V30M)の 1 剖検例. 第 9 回日本神経病理学会東海・北陸地方会, 名古屋, 9,9, 2017.

10) 坂井 健二, 朝川 美和子, 高橋 良一, 石田 千穂, 中村 律子, 濱口 毅, 小野 賢二郎, 岩佐 和夫, 山田 正仁: TTR 型と A β 型の脳アミロイドアンギオパチーが共存して認められた遺伝性 ATTR アミロイドーシス (V30M) の 1 剖検例. 第 45 回臨床神経病理懇話会, 米子, 11,4-5, 2017.

11) 関島 良樹, 矢崎 正英, 植田 光晴, 小池 春樹, 山田 正仁, 安東 由喜雄: アミロイドーシス全国疫学調査における本邦の野生型 ATTR アミロイドーシス診療の実態. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

12) 林 幸司, 兼元 みずき, 坂井 健二, 赤木 明生, 岩佐 和夫, 山田 正仁, 中沼 伸一: 世界で初めての肝移植が行われた遺伝性 ATTR アミロイドーシス (L58R) の 1 例. 第 148 回日本神経学会東海北陸地方会, 名古屋, 7,15, 2017.

13) 三隅 洋平, 植田 光晴, 関島 良樹, 矢崎 正英, 小池 春樹, 山田 正仁, 山下 太郎, 安東 由喜雄: 全国疫学調査を基にした遺伝性トランスサイレチンアミロイドーシスの実態解明. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

玉岡 晃

1) 三宅 善嗣, 富所 康志, 柳葉 久美, 森山 哲也, 増田 洋亮, 人見 重美, 玉岡 晃: HIV 感染後にてんかん発作を繰り返す 35 歳男性例. 第 7 回 Tsukuba Epilepsy Seminar, つくば, 4,19, 2017.

2) 玉岡 晃: アルツハイマー病の分子病態と治療戦略. レミニール Web Seminar, 4,21, 2017.

3) 三宅 善嗣, 辻 浩史, 高橋 由美子, 玉岡 晃: 感冒様症状後, 複視, 浮動性めまいで発症した神経 Sweet 病の 41 歳男性例. 第 632 回日本内科学会関東地方会, 東京, 5,13, 2017.

4) 野原 誠太郎, 中馬越 清隆, 山口 哲人, 植松 洋, 玉岡 晃, 成瀬 紘也, 石浦 浩之, 辻 省次: 外傷を契機に症状が顕在化した家族性筋萎縮性側索硬化症 (SOD1 L85F 変異) の 64 歳男性例. 第 632 回日本内科学会関東地方会, 東京, 5,13, 2017.

5) 三宅 善嗣, 富所 康志, 野中 遥奈, 鶴淵 隆夫, 中馬越 真理子, 坂本 規彰, 野口 雅之, 玉岡 晃: 難聴・めまいで発症し, 脳生検にて血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫と診断された 66 歳男性例. 第 221 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 6,3, 2017.

6) 遠坂 直希, 石井 一弘, 野原 誠太郎, 柳葉 久実, 寺田 真, 糸口 直江, 野口 雅之, 井上 紗恵, 藤本 学, 玉岡 晃: 当初多発性硬化症と診断された神経 Behcet 病の 1 例. 第 633 回日本内科学会関東地方会, 東京, 6,10, 2017.

7) 野原 誠太郎, 平林 匠, 井上 紗恵, 沖山 奈緒子, 藤本 学, 玉岡 晃: 皮膚・筋病変を主座とした結節性多発動脈炎の 1 例. 第 6 回茨城県神経病態研究会, つくば, 6,23, 2017.

8) 三宅 善嗣, 富所 康志, 野中 遥奈, 鶴淵 隆夫, 中馬越 真理子, 坂本 規彰, 野口 雅之, 玉岡 晃: 難聴・めまいで発症した血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の 1 例. 第 6 回茨城県神経病態研究会, つくば, 6,23, 2017.

9) 三宅 善嗣, 辻 浩史, 田中 伸也, 島田 憲佑, 室井 愛, 坂本 規彰, 野口 雅之, 金子 仁彦, 高橋 利幸, 玉岡 晃: 各種免疫治療に抵抗性の抗 MOG 抗体陽性急性出血性白質脳炎の 1 例. 第 28 回茨城神経疾患カンファレンス, つくば, 6,28, 2017.

10) 野原 誠太郎, 平林 匠, 井上 紗恵, 沖山 奈緒子, 藤本 学, 玉岡 晃: 左下肢痛を主徴とし, 皮膚・筋病変を主座とした結節性多発動脈炎の 46 歳男性例. 第 634 回日本内科学会関東地方会, 東京, 7,9, 2017.

11) 三宅 善嗣, 辻 浩史, 田中 伸也, 島田 憲佑, 室井 愛, 坂本 規彰, 野口 雅之, 金子 仁彦, 高橋 利幸, 玉岡 晃: 各種免疫治療に抵抗性の抗 MOG 抗体陽性急性出血性白質脳炎の 15 歳男性例. 第 634 回日本内科学会関東地方会, 東京, 7,9, 2017.

12) 武田 勇人, 三宅 善嗣, 辻 浩史, 松村 英明, 渡部 大輔, 丸島 愛樹, 滝川 知司, 早川 幹人, 松丸 祐司, 松村 明, 玉岡 晃: 仙骨硬膜外ブロックの後, 下肢運動感覚障害の増悪が認められた脊髄動静脈瘻の症例. 第 46 回茨城県南脳血管障害研究会, つくば, 7,21, 2017.

13) 玉岡 晃: TTR-FAP 自験例について. 茨城末梢神経障害フォーラム, つくば, 8,25, 2017.

14) 武田 勇人, 奥根 祥, 石井 一弘, 玉岡 晃: 痙攣発作にて発症し, 一過性の多発大脳病変が認められた 28 歳男性例. Epilepsy forum 2017 in Ibaraki ~Iacosamide 発売 1 周年記念~, つくば, 8,26, 2017.

15) 大内 翔悟, 武田 勇人, 奥根 祥, 遠坂 直希, 石井 一弘, 松田 真秀, 野口 雅之, 玉岡 晃: 痙攣にて発症し, 大脳皮質病変を呈した CLIPPERS の 29 歳男性例. 第 222 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 9,2, 2017.

16) 武田 勇人, 三宅 善嗣, 辻 浩史, 松村 英明, 渡部 大輔, 丸島 愛樹, 滝川 知司, 早川 幹人, 松丸 祐司, 玉岡 晃: 仙骨硬膜外ブロック後下肢

運動感覚障害の増悪が認められた脊髄動静脈瘤の1例. 第635回日本内科学会関東地方会, 東京, 9,9, 2017.

17) 玉岡 晃: レビー小体型認知症: 新しい診断基準と cingulate island sign. 第12回筑波神経内科懇話会, つくば, 10,4, 2017.

18) 遠坂 直希, 石橋 俊, 野原 誠太郎, 辻 浩史, 松村 えりか, 鈴木 浩明, 島野 仁, 横澤 将宏, 住田 孝之, 玉岡 晃: 多発性血管性肉芽腫症による下垂体炎について. 第12回筑波神経内科懇話会, つくば, 10,4, 2017.

19) 奥根 祥, 大内 翔悟, 武田 勇人, 遠坂 直希, 石井 一弘, 松田 真秀, 野口 雅之, 玉岡 晃: 大脳皮質病変を呈した CLIPPERS について. 第12回筑波神経内科懇話会, つくば, 10,4, 2017.

20) 遠坂 直希, 石橋 駿, 野原 誠太郎, 辻 浩史, 松村 えりか, 鈴木 浩明, 島野 仁, 横澤 将宏, 住田 孝之, 玉岡 晃: 多発血管性肉芽腫症による下垂体炎が生じ, 歩行障害, 認知機能障害を呈した73歳男性例. 第636回日本内科学会関東地方会, 東京, 10,13, 2017.

21) 玉岡 晃: アルツハイマー病: 分子病態と治療戦略. 第22回北海道老年期認知症研究会, 札幌, 10,21, 2017.

22) 玉岡 晃: 認知症: 鑑別診断と治療戦略. 第14回認知症フォーラム, 小山, 11,2, 2017.

23) 玉岡 晃: 認知症の症候学による鑑別診断とアルツハイマー病の治療戦略. Reminyl WEB Seminar, つくば, 11,1, 2017.

24) 三宅 善嗣, 中馬越 清隆, 平井 健太, 石井 亜紀子, 佐藤 泰樹, 野口 雅之, 江澤 直樹, 吉長 恒明, 関島 良樹, 玉岡 晃: 硝子体混濁が先行し, 著名な起立性低血圧が認められたトランスサイレチン型家族性アミロイドポリニューロパチーの84歳女性例. 第637回日本内科学会関東地方会, 東京, 11,11, 2017.

25) 玉岡 晃: 認知症: 診断と治療の最前線～高齢発症てんかんと鑑別も含めて～. いわき市医師会学術講演会～認知症とてんかん～, いわき, 11,22, 2017.

26) 野原 誠太郎, 三宅 善嗣, 富所 康志, 玉岡 晃: 無疱疹性帯状疱疹にともなう慢性の脊髄炎を呈した65歳男性例. 第19回茨城県脊髄・脊椎研

究会, つくば, 11,24, 2017.

27) 玉岡 晃: 認知症の症状と診断, 『北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)』第4回市民公開講座, 金沢, 11, 26, 2017.

28) 遠坂 直希, 中馬越 清隆, 三宅 善嗣, 玉岡 晃: 食事中の意識消失発作を繰り返し, 嚥下性失神や解離性障害と鑑別を要した摂食てんかんの2歳女性例. 第223回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 12,2, 2017.

29) 玉岡 晃: アルツハイマー病: 分子病態と治療戦略. 第7回メトロポリタン脳の老化・認知症フォーラム, 東京, 12,5, 2017.

30) 玉岡 晃: 茨城県におけるMS治療の実態. 多発性硬化症学術講演会, つくば, 12,6, 2017.

31) 野原 誠太郎, 石井 一弘, 清水 眸, 平井 健太, 林 大樹, 林 士元, 松村 壮, 野村 明広, 玉岡 晃: 下位脳神経障害を主症状としたANCA関連飛行性硬膜炎の65歳女性例. 第638回日本内科学会関東地方会, 東京, 12,9, 2017.

32) 玉岡 晃: TTR-FAP 早期診断のための地域連携の取り組み紹介. TTR-FAP 治療エキスパート会議2018, 東京, 1,20, 2018.

33) 奥根 祥, 石井 亜紀子, 玉岡 晃: 心因性振戦と考えられた37歳男性例. 第55回日本運動障害研究会, 東京, 1,20, 2018.

34) 奥根 祥, 磯田 文平, 辻 浩史, 玉岡 晃: 皮膚針反応陽性, HLA B51 を認めた脳炎の17歳女性例. 第637回日本内科学会関東地方会, 東京, 2,10, 2018.

35) 三宅 善嗣, 野原 誠太郎, 富所 康志, 藤井 聡子, 玉岡 晃: 無疱疹性帯状疱疹に伴う慢性脊髄炎の65歳男性例. 第639回日本内科学会関東地方会, 東京, 2,10, 2018.

36) 玉岡 晃: アルツハイマー病: 血管性危険因子と治療戦略. 第14回東埼玉糖尿病血管合併症研究会, 越谷, 2,23, 2018.

37) 大内 翔悟, 富所 康志, 清水 眸, 石井 賢二, 樋口 真人, 島田 斉, 須原 哲也, 玉岡 晃: 性格変化・行動異常にて発症し, 顕著なすくみ足を呈した60歳女性例. 第224回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 3,3, 2018.

38) 武田 勇人, 池口 文香, 三宅 善嗣, 渡邊 雅彦, 木野 弘善, 阿久津 博義, 玉岡 晃: 髄膜炎様

症状で発症した下垂体卒中の1例. 第640回日本内科学会関東地方会, 東京, 3,10, 2018.

39) 奥根 祥, 石井 一弘, 金子 仁彦, 高橋 利幸, 藤田 桂史, 玉岡 晃. 抗MOG抗体陽性であった非典型PRESの28歳男性例. 第640回日本内科学会関東地方会, 東京, 3,10, 2018.

40) 玉岡 晃: 認知症: 診断と治療の最先端〜てんかんの鑑別を含めて〜. 高齢者診療カンファレンス【認知症とてんかん】, 東京, 3,12, 2018.

東海林幹夫

1) Kawarabayashi T, Narita S, Sato K, Nakamura T, Hirohata M, Nakahata N, Shoji M: Aβ oligomers in synaptic lipid rafts induce phosphorylated tau and impair signal transduction. Neuroscience 2017, the Society for Neuroscience, 47th Annual Meeting, Washington D.C, Nov 11-15, 2017.

2) Kawarabayashi T, Nakamura T, Hirohata M, Seino Y, Shoji M: Induction of phosphorylated tau and Fyn-NMDA receptor transduction pathway by Aβ oligomers in synapse. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Sep 16-21, 2017.

3) Seino Y, Nakamura T, Hirohata M, Kawarabayashi T, Shoji M: Cerebrospinal fluid and blood biomarkers in neurological diseases. □□□ World Congress of Neurology, Kyoto, Sep 16-21, 2017.

4) Nakamura T, Shoji M: Factors affecting plasma Aβ levels in IHP Project and second year follow. Annual meeting of American Academy of Neurology, Boston, April 23, 2017.

5) Shoji M, Nakahata N, Shirato T, Narita S, Nakamura T, Seino Y, Hirohata M, Kawarabayashi T: DIAN-Japan HUGSM 710 site, Hirosaki, Japan, 2017 DIAD Family Conference, London, July 15, 2017.

6) Seino Y, Narita S, Nakamura T, Hirohata M, Kawarabayashi T, Shoji M: Cerebrospinal fluid and blood biomarkers in neurological diseases. London, 2017 DIAD Family Conference, July 15, 2017.

7) 瓦林 毅, 成田 早希子, 佐藤 薫, 中村 琢洋, 廣畑 美枝, 清野 祐輔, 中畑 直子, 東海林 幹夫: Abeta oligomerはシナプスのlipid raftsでtauを誘発する. 第36回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.

8) 中畑 直子, 成田 早希子, 中村 琢洋, 清野 祐輔, 廣畑 美枝, 瓦林 毅, 東海林 幹夫, 中野 重之: 地域健診における軽度認知障害スクリーニング検査の有用性の検討. 第36回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.

9) 中村 琢洋, 瓦林 毅, 清野 祐輔, 廣畑 美枝, 高 紀信, 瀧山 嘉久, 東海林 幹夫: VCP 遺伝子変異を認めた痙性対麻痺の一例. 第28回日本老年医学会東北地方会, 弘前, 10,21, 2017.

10) 中村 琢洋, 瓦林 毅, 清野 祐輔, 廣畑 美枝, 東海林 幹夫, 若佐谷 保仁, 高 紀信, 瀧山 嘉久: VPC 遺伝子変異を認めた痙性対麻痺の1例. 第100回日本神経学会東北地方会, 盛岡, 9,30, 2017.

11) 瓦林 毅, 中村 琢洋, 清野 祐輔, 廣畑 美枝, 中畑 直子, 成田 早希子, 東海林 幹夫: 岩木健康増進プロジェクト検診における軽度認知障害スクリーニング検査. VasCog Japan, 東京, 8,5, 2017.

高市憲明

1) 大島 洋一, 上野 智敏, 星野 純一, 関根 章成, 諏訪部 達也, 住田 圭一, 早見 典子, 小黒 昌彦, 水野 裕基, 國沢 恭平, 藪内 純子, 川田 真宏, 平松 里佳子, 長谷川 詠子, 澤 直樹, 高市 憲明, 乳原 善文, 国家公務員共済組合連合会虎の門病院・リウマチ膠原病科: IL-6シグナルがAAアミロイドーシス腎症の腎不全進展因子として考察しえた2例. 第61回日本リウマチ学会総会学術集会, 福岡, 4,20-22, 2017.

2) 藤原 秀臣, 星野 純一, 山内 真之, 早見 典子, 関根 章成, 大島 洋一, 國沢 恭平, 藪内 純子, 小黒 昌彦, 水野 裕基, 川田 真宏, 住田 圭一, 長谷川 詠子, 諏訪部 達也, 澤 直樹, 高市 憲明, 藤井 丈士, 乳原 善文: Tocilizumabに治療抵抗性を示した関節リウマチ続発のAAアミロイドーシスに対しAbataceptが著効した一例. 第47回日本腎臓学会東部学術集会, 横浜, 10,28-29, 2017.

山田俊幸

1) 佐藤 純司, 奥田 恭章, 黒田 毅, 山田 俊幸: 腹壁脂肪中AAアミロイドの簡便な検出法. 第61回日本リウマチ学会学術集会, 福岡, 4,20-22, 2017.

奥田 恭章

- 1) 奥田 恭章, 的場 謙一郎, 城山 一男, 山田 明弘, 村田 洋介, 澤田 直哉, 堤 聡, 曾我部 愛由子, 辻本 早希, 大西 誠, 高杉 潔: リウマチ性疾患に合併する反応性 AA アミロイドーシスの頻度と臨床像の変遷—25 年間の上部消化管生検スクリーニングの結果を中心に—. 第 61 回日本リウマチ学会総会・学術集会, 福岡, 4,20-22, 2017.
- 2) 奥田 恭章, 山田 俊幸, 植田 光晴, 安藤 由喜雄: 反応性 AA アミロイドーシスに関する初めての全国疫学調査の結果と特徴. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会・学術集会 京都, 8,19, 2017.
- 3) 奥田 恭章: リウマチ性疾患に合併する反応性 AA アミロイドーシスの頻度と臨床像の変遷. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会・学術集会, 京都, 8,19, 2017.
- 4) 佐藤 純司, 奥田 恭章, 黒田 毅, 山田 俊幸: AA アミロイドの簡便な検出. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会・学術集会 京都, 8,19, 2017.

畑 裕之

- 1) 上野 二菜, 上野 志貴子, 幸 宏道, 立津 央, 平田 真哉, 野坂 生郷, 菰原 義弘, 竹屋 元裕, 畑 裕之, 松岡 雅雄, 奥野 豊: 成熟 B 細胞での PU.1 のノックアウトは DLBCL 発症を引き起こす. 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京, 10,20-22, 2017.
- 2) 上野 志貴子, 遠藤 慎也, 立津 央, 畑 裕之, 松岡 雅雄, 満屋 裕明, 奥野 豊: 骨髄腫細胞において PU.1 は直接転写抑制して IRF4 発現を低下させる. 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京, 10,20-22, 2017.
- 3) 稲田 優紀, 杉本 俊哉, 遠藤 慎也, 西村 直, 奥野 豊, 植田 光晴, 田崎 雅義, 藤井 絵里, 鹿子木 実咲, 大林 光念, 山下 太郎, 安東 由喜雄, 畑裕之: 免疫染色陰性 AL アミロイドーシス由来免疫グロブリン軽鎖ペプチドの解析. 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京, 10,20-22, 2017.
- 4) 鹿子木 実咲, 河野 和, 稲田 優紀, 西村 直, 奥野 豊, 畑 裕之, 松岡 雅雄: IMiDs は骨髄腫細胞の CD38 発現を回復する. 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京, 10,20-22, 2017.
- 5) 鹿子木 実咲, 勝屋 弘雄, 野口 貴史, 稲田 優

- 紀, 宮里 パオラ, 松尾 美沙希, 徳永 雅仁, 宇都宮 與, 畑 裕之, 谷 時雄, 佐藤賢文: ATL 細胞における核形態異常と YB-1 との関連性解析. 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京, 10,20-22, 2017.
- 6) 園田 未祐, 立津 央, 上野 志貴子, 河野 和, 野坂 生郷, 畑 裕之, 松岡 雅雄, 奥野 豊: カルフィルゾミブ加療中に間質性肺炎をきたした多発性骨髄腫の 1 例. 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京, 10,20-22, 2017.
- 7) 松尾 美沙希, 宮里 パオラ, 稲田 優紀, 宇都宮 與, 野坂 生郷, 畑 裕之, 佐藤賢文: HTLV-1 新規エンハンサーの分子メカニズムおよび組み込み部位周辺宿主ゲノムとの機能的相互作用解析. 第 79 回日本血液学会学術集会, 東京, 10,20-22, 2017.
- 8) Inada Y, Katsuya H, Miyazato P, Benjy Jek Yang Tan, Iwase S, Kakoki M, Matsuo M, Islam S, Tokunaga M, Hata H, Yamano Y, Utsunomiya A, Satou Y: Highly Sensitive Viral RNA-Seq Is a Powerful tool to analyze the viral transcripts in HTLV-1-infected individuals. 59th Annual Meeting & Exposition, American Society of Hematology, Atlanta, GA, USA, Dec 9-12, 2017.
- 9) Kawano Y, Kakoki M, Inada Y, Nishimura N, Okuno Y, Hata H, Matsuoka M: Altered expression of CCR10 indicates malignant transformation of bone marrow plasma cells. 59th Annual Meeting & Exposition, American Society of Hematology, Atlanta, GA, USA, Dec 9-12, 2017.

小池春樹

- 1) Koike H: Neuropathy genetics. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 2) Koike H: Diagnosis and management of vasculitic neuropathy. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 3) Koike H, Kadoya M, Kaida K, Ikeda S, Kawagashira Y, Iijima M, Kato D, Ogata H, Yamasaki R, Matsukawa N, Kira JI, Katsuno M, Sobue G: Paranodal dissection in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy with autoantibodies to paranodal axo-glial junctional molecules. 2017

- Peripheral Nerve Society Annual Meeting, Sitges-Barcelona, Spain, July 8-12, 2017.
- 4) Iijima M, Nishi R, Ikeda S, Kawagashira Y, Koike H, Sobue G, Katsuno M: Efficacy of immunoglobulins for NOD B7-2 KO mice. 2017 Peripheral Nerve Society Annual Meeting, Sitges-Barcelona, Spain, July 8-12, 2017.
- 5) Ikeda S, Nishi R, Kawagashira Y, Iijima M, Koike H, Katsuno M, Sobue G: Clinicopathological characteristics among CIDP subtypes. 2017 Peripheral Nerve Society Annual Meeting, Sitges-Barcelona, Spain, July 8-12, 2017.
- 6) Kaida K, Kadoya M, Koike H, Iijima M, Takazaki H, Ogata H, Moriguchi K, Shimizu J, Nagata E, Takizawa S, Chiba A, Yamasaki R, Kira J-I, Sobue G, Ikewaki K: Antibodies to neurofascin155 in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy: diagnostic utility of a conventional assay. 2017 Peripheral Nerve Society Annual Meeting, Sitges-Barcelona, Spain, July 8-12, 2017.
- 7) Koike H, Kadoya M, Kaida K, Nishi R, Ikeda S, Kawagashira Y, Iijima M, Kato D, Ogata H, Yamasaki R, Matsukawa N, Kira JI, Katsuno M, Sobue G: Paranodal axo-glial detachment in chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy with anti-neurofascin-155 and anti-contactin-1 antibodies. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 8) Koike H, Ikeda S, Takahashi M, Kawagashira Y, Iijima M, Misumi Y, Ando Y, Ikeda SI, Katsuno M, Sobue G: Vasculopathy in familial amyloid polyneuropathy. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 9) Ikeda S, Nishi R, Kawagashira Y, Iijima M, Koike H, Katsuno M, Sobue G: Clinicopathological characteristics among CIDP subtypes. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 10) Nishi R, Koike H, Ikeda S, Kawagashira Y, Iijima M, Katsuno M, Sobue G: Clinicopathological features of eosinophilic granulomatosis with polyangiitis with and without antineutrophil cytoplasmic antibodies. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 11) Noda S, Koike H, Nakanishi H, Kimura S, Katsuno M: Reinnervation after denervation in inclusion body myositis. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 12) Iijima M, Nishi R, Ikeda S, Kawagashira Y, Koike H, Katsuno M, Sobue G: Pathological features of NOD B7-2 KO mice treated by high dose immunoglobulins. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 13) Kaida K, Kadoya M, Koike H, Iijima M, Takazaki H, Ogata H, Moriguchi K, Shimizu J, Nagata E, Takizawa S, Chiba A, Yamasaki R, Kira J-I, Sobue G, Ikewaki K: Diagnostic utility of ELISA for anti-neurofascin 155 antibodies in chronic inflammatory demyelinating polyradiculoneuropathy. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 14) Kimura S, Nakanishi H, Noda S, Murakami A, Iijima M, Koike H, Katsuno M: Diagnostic value of muscle biopsy for neuromuscular diseases. The XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, Sep 16-21, 2017.
- 15) 小池 春樹: 急性自律神経性感覚性ニューロパチー. 第70回日本自律神経学会総会, 名古屋, 8,30-9,2, 2017.
- 16) 小池 春樹: 血管炎性ニューロパチー. 第28回日本末梢神経学会学術集会, 名古屋, 8,25-26, 2017.
- 島崎千尋
- 1) 島崎 千尋: AL アミロイドーシスに対する全国疫学調査報告. 第5回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.
- 2) Fuchida S, Taminishi-Katsuragawa Y, Okano A, Hatsuse M, Murakami S, Shimazaki C: Retrospective analysis of 45 cases with cardiac AL amyloidosis in our hospital. 第79回日本血液学会学術集会, 東京, 10,21, 2017.
- 3) 淵田 真一, 民西 葉子, 岡野 晃, 初瀬 真弓, 村頭 智, 島崎 千尋: 当院における心 AL アミロイドーシス 45 例の広報視的検討. 第5回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

4) 淵田 真一, 岡野 晃, 初瀬 真弓, 村頭 智, 島崎 千尋: 当院における心 AL アミロイドーシス 41 例の後方視的検討. 第 114 回日本内科学会講演会, 東京, 4,15, 2017.

飯田真介

1) Marumo Y, Kusumoto S, Narita T, Masaki A, Sasaki H, Kato C, Nakashima T, Kanamori T, Murakami S, Ito A, Ri M, Ishida T, Komatsu H, Inagaki H, Iida S: Significant albuminuria (light chain amyloidosis/monoclonal immunoglobulin deposition disease type) in multiple myeloma with severe renal impairment: a retrospective analysis. International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, Mar 26-29, 2018.

植田光晴

1) Ueda M, Masuda T, Ando Y: Early skin denervation in transthyretin amyloid neuropathy. Driving change: Novel research into early screening and diagnosis of hereditary transthyretin amyloidosis polyneuropathy. PNS 2017 annual meeting, Sitges, Spain, July 8-12, 2017.

2) Ueda M, Misumi Y, Masuda T, Tsuda Y, Inoue Y, Tasaki M, Yamashita T, Ando Y: Amyloid formation and toxicity of fragmented transthyretin. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Japan, September 16-21, 2017.

3) Ueda M, Tasaki M, Inoue Y, Ando Y: Novel findings of amyloidosis: Analyses by mass spectrometry. Clinical Mass Spectrometry Meeting Anatomical and Chemical Pathology. The 29th World Congress of World Association of Societies of Pathology and Laboratory Medicine, Kyoto, Japan, November 15-18, 2017.

4) Ueda M, Masuda T, Misumi Y, Tasaki M, Inoue Y, Yamashita T, Ando Y: Novel diagnostic and treatment strategies in amyloidosis. Medical and Nursing Symposium between Shandong University and Kumamoto University, Shandong, China December 15, 2017.

5) Ueda M: Early diagnosis and therapies for hereditary transthyretin amyloidosis. XVI

International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, March 26-29, 2018.

6) Ueda M, Masuda T, Misumi Y, Yamashita T, Ando Y: Redefining the patient and treatment paradigm. Pfizer Satellite Symposium. XVI International Symposium on Amyloidosis, Kumamoto, Japan, March 26-29, 2018.

7) 植田 光晴, 安東 由喜雄: R アミロイドーシス 実験モデルを用いた病態解析及び治療法の開発. シンポジウム「アミロイドーシス研究入門: 線維形成実験からマウスモデルまで」, 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

8) 植田 光晴, 三隅 洋平, 増田 曜章, 水口 峰之, 井上 泰輝, 津田 幸元, 野村 隼也, 松本 沙也加, 水上 真由美, 金縄 京佑, 中村 真琴, 山下 太郎, 安東 由喜雄: トランスサイレチンフラグメントのアミロイド形成および細胞毒性の解析. 第 28 回日本末梢神経学会学術集会, 名古屋, 8,25-26, 2017.

小野賢二郎

1) Ono K, Nakamura T, Itami M, Takahashi R, Teplow D, Yamada M: High-speed atomic force microscopy reveals structural dynamics of amyloid β 1-42 aggregates. Alzheimer's Association International Conference 2017, London, England, July 16-20, 2017.

2) Shinohara M, Komatsu J, Samuraki M, Matsunari I, Ikeda T, Sakai K, Hamaguchi T, Ono K, Nakamura H, Yamada M: Associations between cerebral amyloid angiopathy-related microbleeds and cerebrospinal fluid biomarkers in Alzheimer's disease, London, England, July 16-20, 2017.

3) Ono K, Nakayama T, Itami M, Takahashi R, Teplow D, Yamada M: High-speed atomic force microscopy reveals structural dynamics of amyloid β 1-42 aggregates. XXIII World Congress of Neurology. Kyoto, Japan, September 16-21, 2017.

4) 小野 賢二郎: アミロイド凝集の視点からの治療戦略. 第 32 回日本老年精神医学会, 名古屋, 6,14-16, 2017.

5) 小野 賢二郎: The consideration of Alzheimer's disease from the view of A β oligomer. 第 61 回日本神経化学学会大会, 仙台, 9,7-9, 2017.

- 6) 小野 賢二郎: オリゴマオパチーとしての神経変性疾患. 第 58 回日本神経学会学術大会, 京都, 9,16-21, 2017.
- 7) 小野 賢二郎: アルツハイマー型認知症の診断と治療. 第 7 回日本認知症予防学会学術集会, 岡山, 9,24, 2017.
- 8) 小野 賢二郎, 山田 正仁: アルツハイマー病の治療: 現状と展望アミロイド仮説は否定されるのか. 第 35 回日本神経治療学会総会, 埼玉, 11,16-18, 2017.
- 9) 小野 賢二郎: オリゴマオパチーとしてのアルツハイマー病. 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.
- 10) 小野 賢二郎: 認知症の分子標的: アミロイドからオリゴマー、そして核酸へ. 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.
- 11) 小野 賢二郎, 中山 隆宏, 伊丹 将大, 高橋 良一, David Teplow, 山田 正仁: 高速原子間力顕微鏡を用いた Aβ42 凝集過程の観察. 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.
- 12) 黒田 岳志, 金野 竜太, 森友 紀子, 二村 明憲, 四郎丸 あずさ, 矢野 怜, 村上 秀友, 小野 賢二郎: アルツハイマー病における微小脳出血と脳脊髄液循環障害の関連についての検討. 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,24-26, 2017.

関島良樹

- 1) Sekijima Y: Prevalence of Transthyretin-type cerebral amyloid angiopathy in ATTR-FAP patients and its early diagnosis using PiB-PET Imaging. 2017 Peripheral Nerve Society Annual Meeting, Sitges, July 9-11, 2017.
- 2) Sekijima Y: Current topics in Amyloidosis.- from Alzheimer disease to ATTR amyloidosis. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Sep 16-21, 2017.
- 3) Ezawa N, Katoh N, Oguchi K, Yoshinaga T, Yazaki M, Sekijima Y: Visualization of multiple organ amyloid involvement in systemic amyloidosis using 11C-PiB-PET imaging. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Sep 16-21, 2017.
- 4) Katoh N, Abe R, Ezawa N, Miyazaki D, Sekijima Y. Amyloid myopathy: Kiagnosis, clinical presentation, pathology, and amyloid imaging findings of this rare myopathy associated with systemic immunoglobulin light-chain (AL) amyloidosis. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Sep 16-21, 2017.
- 5) Kodama S, Miyazaki D, Yoshinaga T, Yazaki M, Sekijima Y: Clinical characteristics of ATTR-type leptomeningeal amyloidosis/cerebral amyloid angiopathy. XXIII World Congress of Neurology, Kyoto, Sep 16-21, 2017.
- 6) 山田 友美, 福島 隆男, 牧野 邦比古, 児玉 聡, 関島 良樹, 清水 宏, 柿田 明美: Amyloid spells で発症した軟膜アミロイドーシスの 43 歳男性例. 第 220 回日本神経学会関東・甲信越地方会, 東京, 3,4, 2017.
- 7) 関島 良樹: 野生型 ATTR アミロイドーシスの早期診断. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.
- 8) 関島 良樹: 遺伝性 ATTR アミロイドーシスの病態に基づいた疾患修飾療法の開発. 第 35 回日本神経治療学会総会, 大宮, 11,16-18, 2017.
- 9) 関島 良樹: TTR-FAP の診断と治療の実際 ~ 最新の話 ~. 第 35 回日本神経治療学会総会, 大宮, 11,16-18, 2017.
- 10) 関島 良樹: Transthyretin(ATTR)-type cerebral amyloid angiopathy. 第 36 回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,23-25, 2017.
- 11) 関島 良樹, 矢崎 正英, 植田 光晴, 小池 春樹, 山田 正仁, 安東 由喜夫: アミロイドーシス全国疫学調査における本邦の野生型 ATTR アミロイドーシス診療の実態. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.
- 12) 加藤 修明, 阿部 隆太, 江澤 直樹, 宮崎 大吾, 関島 良樹: AL アミロイドミオパチー: 本症の診断、臨床像、病理像、およびアミロイドイメージング所見. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.
- 13) 吉長 恒明, 加藤 修明, 上野 賢一, 佐藤 充人, 矢崎 正英, 亀谷 富由樹, 安田 日出男, 渡邊 恭平, 関島 良樹: 肝臓精巣アミロイドーシスを呈した遺伝性 AapoA1 型アミロイドーシスの一例. 第 5 回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.
- 14) 吉長 恒明, 矢崎 正英, 亀谷 富由樹, 小松 修, 関島 良樹: 消化管アミロイドーシス患者から

同定した野生型シスタチンC型アミロイドーシスの一例. 第5回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

15) 江澤 直樹, 加藤 修明, 小口 和浩, 吉長 恒明, 矢崎 正英, 関島 良樹: 全身性アミロイドーシスの多臓器アミロイド沈着評価における C-PiB-PET の有用性. 第5回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

16) 矢崎 正英, 吉長 恒明, 大野 正和, 小山 潤, 関島 良樹: アジア諸国で初となる V122I 変異を有した遺伝性 ATTR アミロイドーシス症例. 第5回日本アミロイドーシス研究会学術集会, 京都, 8,19, 2017.

17) 江澤 直樹, 加藤 修明, 小口 和浩, 吉長 恒明, 矢崎 正英, 関島 良樹: ATTR 型脳アミロイドアンギオパチーにおける 11C-PIB PET 所見の特徴. 第36回日本認知症学会学術集会, 金沢, 11,23-25, 2017.

18) 小平 農, 森田 洋, 関島 良樹: トランスサイレチン型家族アミロイドポリニューロパチー患者における体幹部長さ依存性細径線維障害いわゆる島状感覚障害. 第47回日本臨床神経生理学会学術大会, 横浜, 11,29-12.1, 2017.

佐野元昭

1) 遠藤 仁, 佐野 元昭: 循環器医が直面する心アミロイドーシス診療のジレンマと今後の課題. 第5回日本アミロイドーシス学会, 京都, 8,19, 2017.

田原宣広

1) 田原 宣広: Vascular inflammation evaluated by FDG-PET/CT in adult patients with a history of Kawasaki disease. 第81回日本循環器学会学術集会, シンポジウム: 川崎病遠隔期の血管病変, 金沢, 3,18, 2017.

2) Tahara N, Tahara A, Honda A, Nitta Y, Igata S, Bekki M, Nakamura T, Sugiyama Y, Sun J, Fulumoto Y: Clinical monitoring of inflammatory activity in atherosclerotic disease. 第81回日本循環器学会学術集会, 会長特別企画: 冠動脈イメージングの使命: 形態と機能の融合を見据えた今後の展開, 金沢, 3,19, 2017.

3) 田原 宣広, 戸次 宗久, 中村 知久, 枚山 陽一,

孫 佳慧, 本多 亮博, 井形 幸代, 田原 敦子, 福本 義弘: 第65回日本心臓病学会学術集会, シンポジウム 1: 冠動脈疾患画像診断の進歩, 大阪, 9,29, 2017.

4) 田原 宣広, 枚山 陽一, 中村 知久, 戸次 宗久, 孫 佳慧, 本多 亮博, 田原 敦子, 福本 義弘: 高齢者における肺動脈性肺高血圧症. 第65回日本心臓病学会学術集会, シンポジウム 14: 肺動脈性肺高血圧症の診断と治療, 大阪, 10,1, 2017.

5) 田原 宣広, 戸次 宗久, 中村 知久, 枚山 陽一, 孫 佳慧, 本多 亮博, 田原 敦子, 福本 義弘: 心不全に対する分子イメージング. 第21回日本心不全学会学術集会, シンポジウム 12 「進化する心不全の画像診断」, 秋田, 10,14, 2017.

6) 田原 宣広, 枚山 陽一, 中村 知久, 戸次 宗久, 孫 佳慧, 本多 亮博, 田原 敦子, 福本 義弘: 高齢者における肺動脈性肺高血圧症. 第29回日本 Pediatric Interventional Cardiology 学会学術集会, JPIC-CVIT ジョイントシンポジウム「肺高血圧合併心疾患に対する治療戦略: 小児期から高齢者まで」, 福岡, 1,20, 2018.

7) 田原 宣広, 戸次 宗久, 中村 知久, 本多 亮博, 田原 敦子, 枚山 陽一, 孫 佳慧, 井形 幸代, 上野 高史, 福本 義弘: Evaluation of vascular inflammation by FDG-PET in adult patients with a history of Kawasaki disease and coronary artery lesions. 第82回日本循環器学会学術集会, シンポジウム: 川崎病既往成人の冠動脈病変の病態の評価と管理, 大阪, 3,24, 2018.

8) 田原 宣広, 戸次 宗久, 中村 知久, 本多 亮博, 田原 敦子, 枚山 陽一, 孫 佳慧, 井形 幸代, 福本 義弘: Strategies for the diagnosis of cardiac amyloidosis. 第82回日本循環器学会学術集会, トピック: どう診る、どうする、拡張不全! ~病態、診断、治療の最前線~, 大阪, 3,25, 2018.

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

安東由喜雄

名称: トランスチレチン (TTR) 関連眼アミロイドーシスのための siRNA 療法

出願中: 出願番号 特願 2017-157474 (日本)

出願日: 2017年8月17日

出願中：出願番号 15/660697 (米国)

出願日：2017 年 7 月 26 日

登録：出願番号 11763336.2

登録番号：2552456 (独・仏・英)

出願日：2011 年 3 月 29 日

登録日：2017 年 8 月 23 日登録

発明者：安東 由喜雄, 城野 博史,
Rene Alvarez Dinah Sah

東海林幹夫

発明の名称：ワクチンを蓄積する形質転換ダイ
ズ植物およびその利用

特許登録番号：特許第 5709097 号

共願人：東海林 幹夫, 北興化学工業株式会社,
農業・食品産業技術

畑 裕之

名称：多発性骨髄腫新規治療薬

出願日：2017 年 1 月 9 日出願

権利者：松岡 雅雄, 河野 和, 畑 裕之 (出願中)

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし